第４９回　県政世論調査

単純集計結果

令和８年７月実施

岐阜県

目　　次

Ⅰ　調査概要 1

１．１　調査の目的 1
１．２　調査の経緯 1
１．３　調査項目 1
１．４　調査の設計 1
１．５　回収結果 1
１．６　標本誤差 2
１．７　報告書の見方 2
１．８　対象者の属性 3

Ⅱ　調査結果 8

２．１　くらしについて 8
問１　くらしの前年比較 8
問１－２　くらしが苦しくなったと感じる理由 9
問２　くらしの満足度 11
問３　生活面での不安 12
問４　今後のくらしの中で重視していきたいこと 14
問５　生活に必要な情報の入手媒体 16
問６　現在住んでいる地域は住みやすいか 18
問６－２　住んでいる地域が住みやすいと感じる点 19
問６－３　住んでいる地域が住みにくいと感じる点 21
問７　今後も岐阜県に住み続けたいか 23
２．２　県の取組み全般について 24
問８　施策や事業についての情報の入手方法 24
問９　県事業への関心の有無 26
問９－２　県事業に関心がない理由 27
問１０　県の取組でよくやっていると思う分野、
努力が足りないと思う分野 28
問１１　重点的に進めるべきだと思う分野 32

Ⅰ　調査概要

１．１　調査の目的

県下全域の県民意識の把握とともに、県行政に対する県民の関心、満足度等を調査し、県政推進の基礎資料とする。

１．２　調査の経緯

昭和４２年から実施、今回４９回目

※昭和 42 年～昭和 61 年：毎年実施　　昭和 63 年～平成 18 年：隔年実施　平成 20 年～：毎年実施

１．３　調査項目

（１）くらしについて
（２）県の取組み全般について

１．４　調査の設計

（１）調査地域　　岐阜県全域
（２）調査対象　　県内に居住する満１８歳以上の男女個人
（３）標本数　　３，０００人
（４）抽出方法　　層化二段無作為抽出法
（５）調査方法　　郵送法・オンライン調査法の併用
（６）調査時期　　令和８年７月１日～７月２４日
（７）調査実施機関　　株式会社中部タイム・エージェント

１．５　回収結果

	調査時期	標本数 （A）	回収数 （B）	有効回答数 （C）	回収率 （B／A）	有効回答率 （C／A）	有効回答数のうちオンライン回答数・割合
第４９回 （令和８年度）	令和８年 ７月	3,000	1,767	1,766	５８．９%	５８．９%	６６１ ３７．４%
第４８回 （令和７年度）	令和７年 ６月～７月	3,000	1,644	1,644	５４．８%	５４．８%	６１７ ３７．５%
第４７回 （令和６年度）	令和６年 ７月	3,000	1,699	1,699	５６．６%	５６．６%	４５８ ２７．０%

１．６　標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果をみる場合、一定の幅を持たせてみる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96\sqrt{\frac{P\,(100-P)}{n}}$$　　（ただし、P：回答比率　n：回答者数）

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数（n）及び②回答比率（P）によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

		P（回答比率　%）									
n（回答者数　人）		5 又は 95	10 又は 90	15 又は 85	20 又は 80	25 又は 75	30 又は 70	35 又は 65	40 又は 60	45 又は 55	50
総数	1,766	1.0	1.4	1.7	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.3	2.3

（注）1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。
2. この表の見方は以下のとおりである。
「ある設問の回答者数が 1,766 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.3%である。」

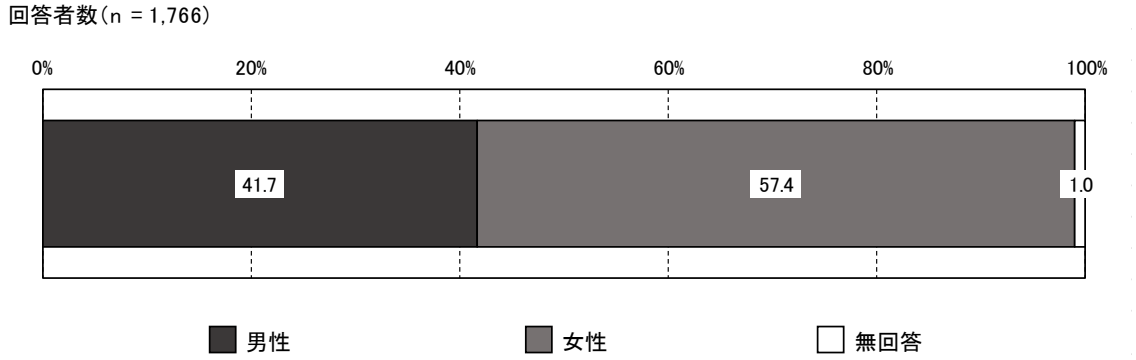
１．７　報告書の見方

（１）比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
（２）基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
（３）複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
（４）本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

１．８　対象者の属性

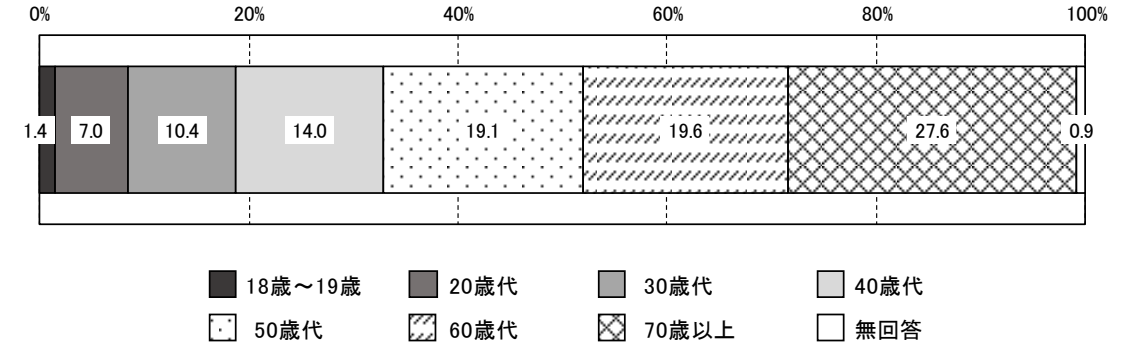
Ｆ－１　性別

図 F-1 性別



Ｆ－２　年代

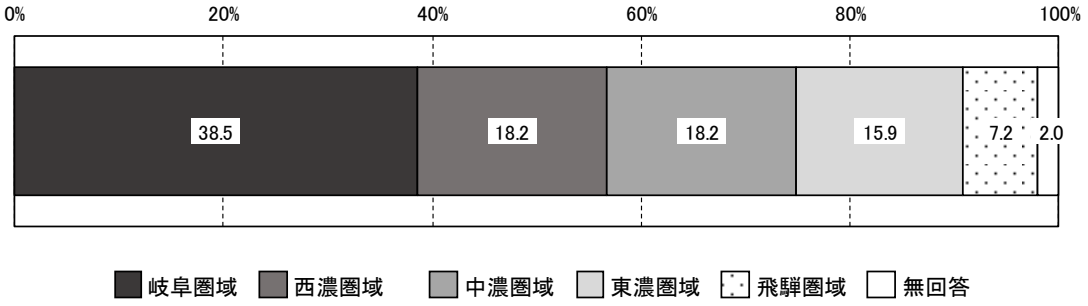
図 F-2 年代



Ｆ－３　居住圏域（５分類）

図 F-3 居住圏域（5分類）

回答者数（n = 1,766）

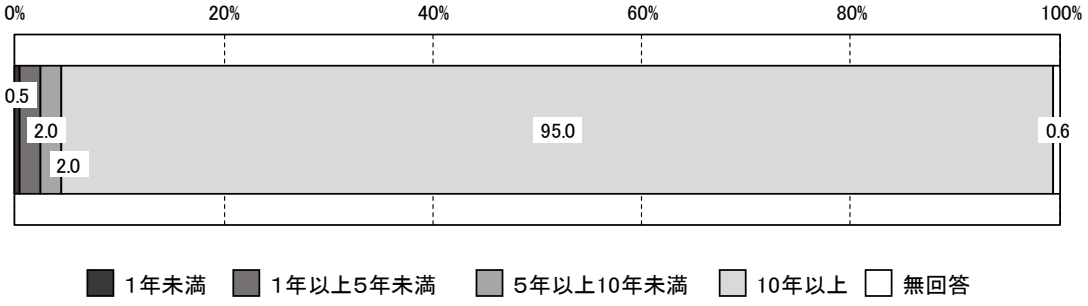


岐阜圏域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
西濃圏域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ケ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町）
中濃圏域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
東濃圏域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
飛騨圏域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）

Ｆ－４　居住年数

図 F-4 居住年数

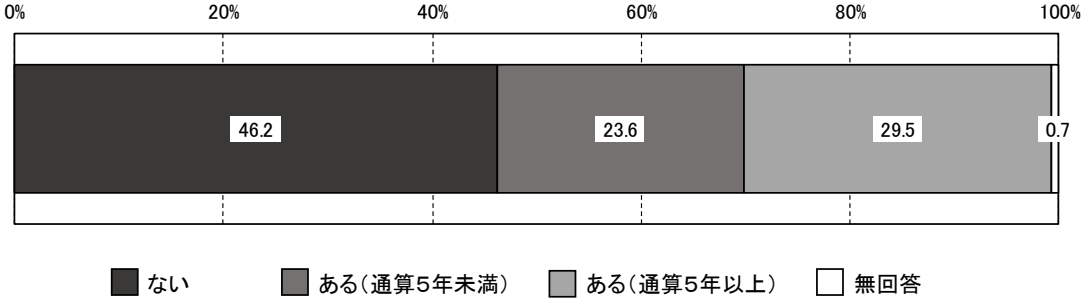
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－５　県外居住経験の有無

図 F-5 県外居住経験の有無

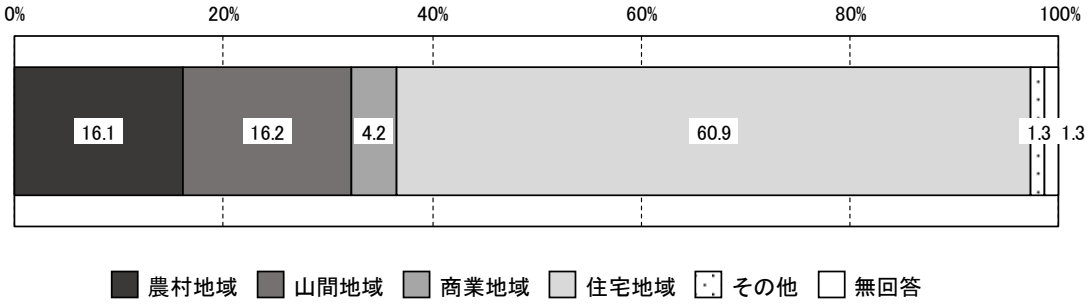
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－６　居住地周囲の環境

図 F-6 居住地周囲の環境

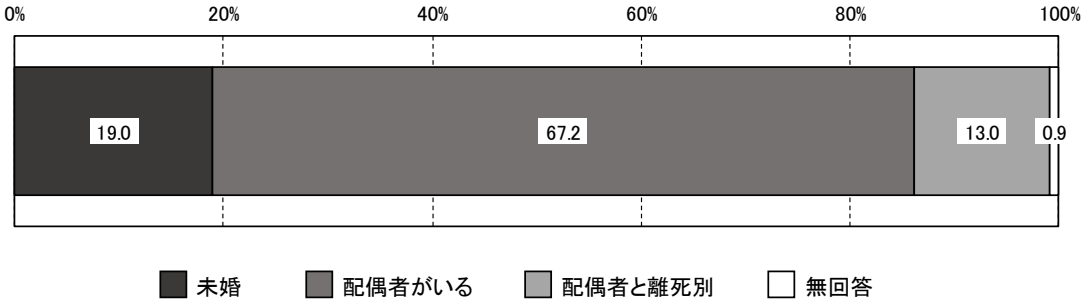
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－７　配偶者の有無

図 F-7 配偶者の有無

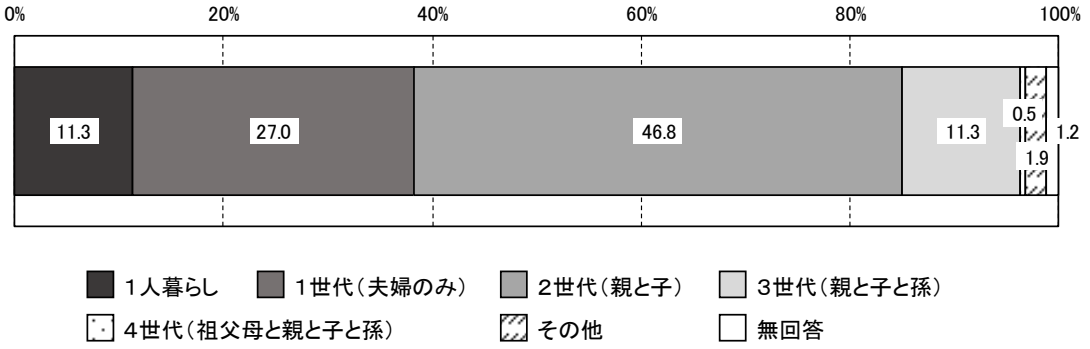
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－８　家族形態

図 F-8 家族形態

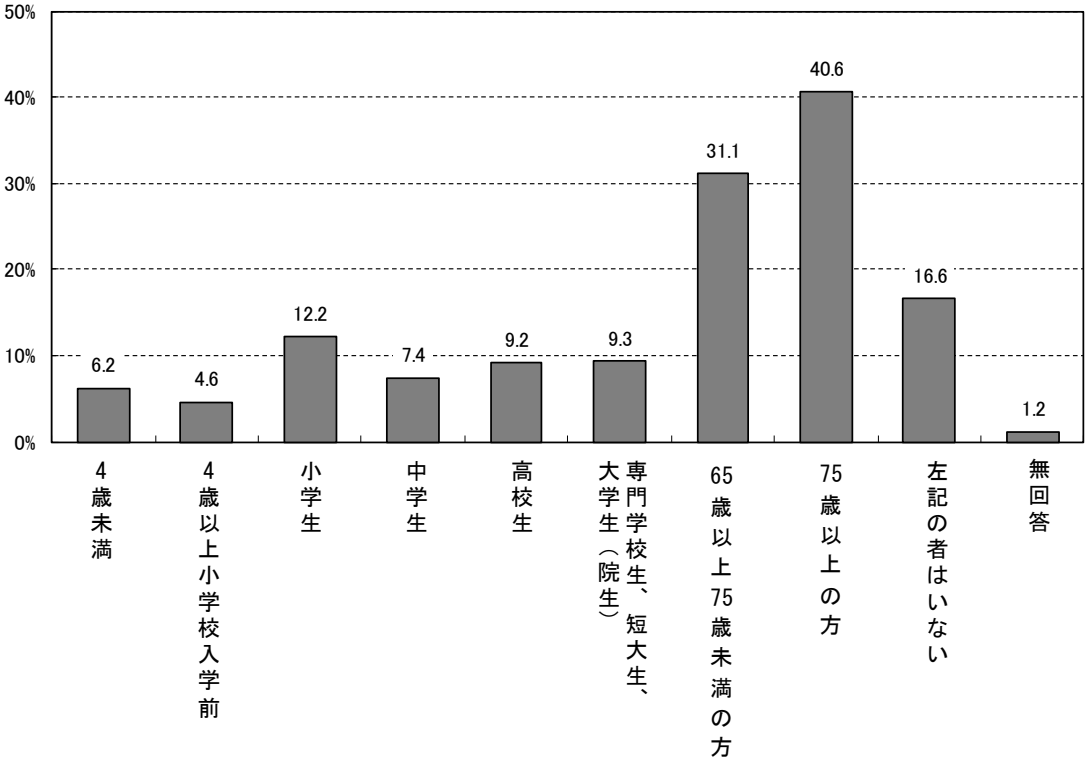
回答者数（n = 1,766）



Ｆ－９　家族構成

図 F-9 家族構成

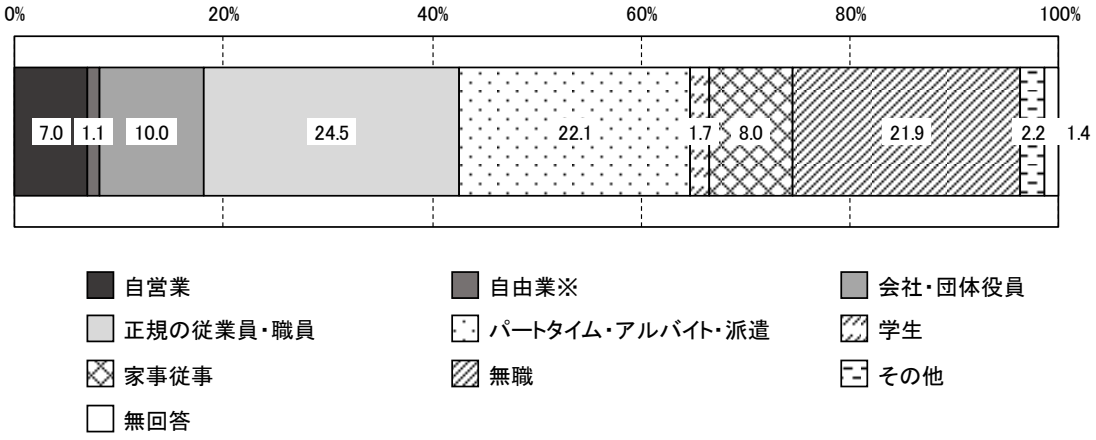
回答者数（n = 1,766）
総回答数（N = 2,446）



Ｆ－１０　職業

図 F-10 職業

回答者数（n = 1,766）

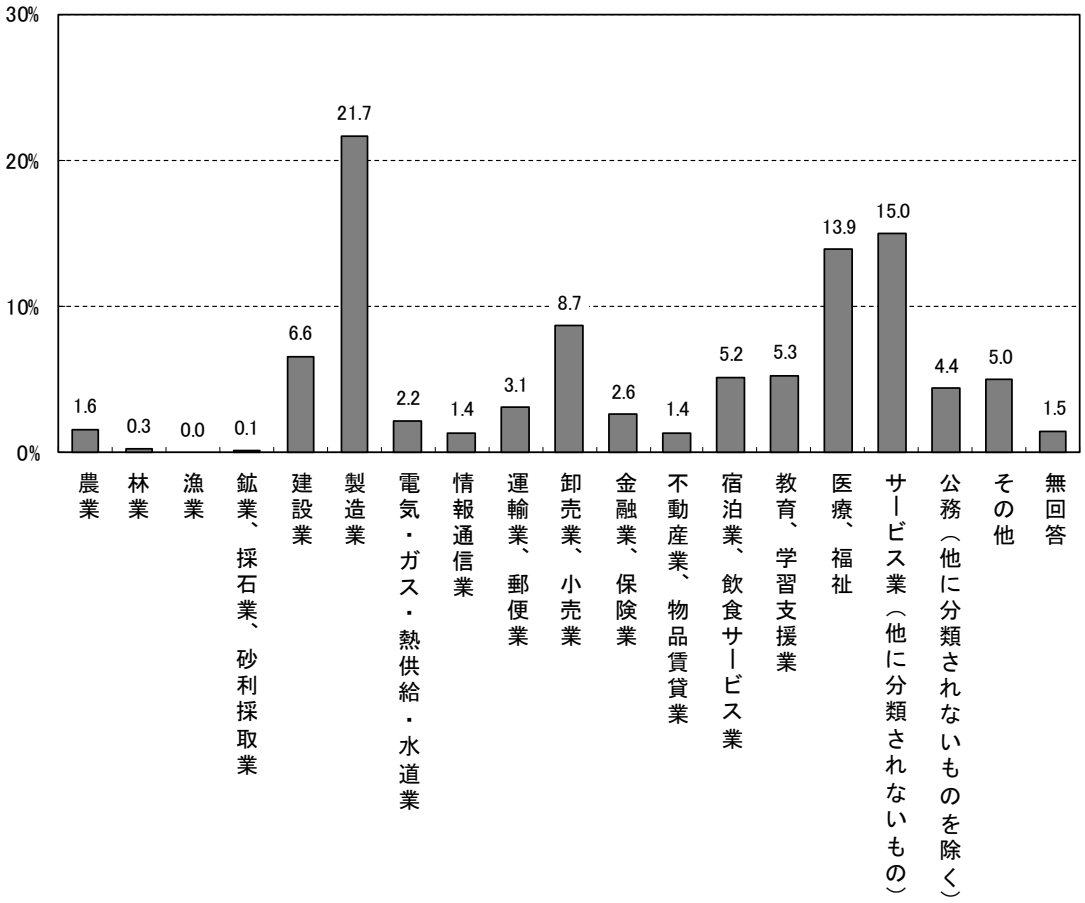


※　自由業：一定の雇用関係によらず、勤務時間その他の制約を受けない職業で、作家、弁護士、医師、会計士、税理士、芸術家など

Ｆ－１１　業種

図 F－11　業種

回答者数（n = 1,143）※

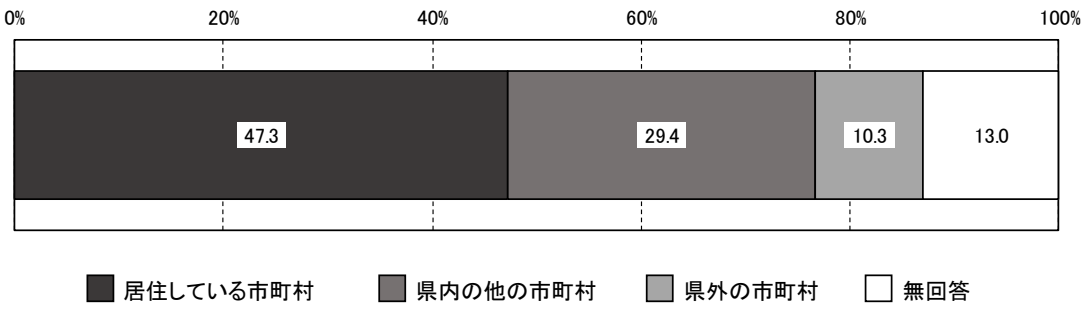


※「F-10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣と答えた方のみ

Ｆ－１２　通勤、通学先

図 F-12　通勤、通学先

回答者数（n = 1,173）※



※「F-10　職業」で、自営業、自由業、会社・団体役員、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、学生と答えた方のみ

Ⅱ　調査結果

2．1　くらしについて

問1　くらしの前年比較

問１　あなたやあなたの家庭のくらし向き（家計など）は、去年の今頃と比べてどうですか。（１つだけ）

図 1-1　くらしの前年比較

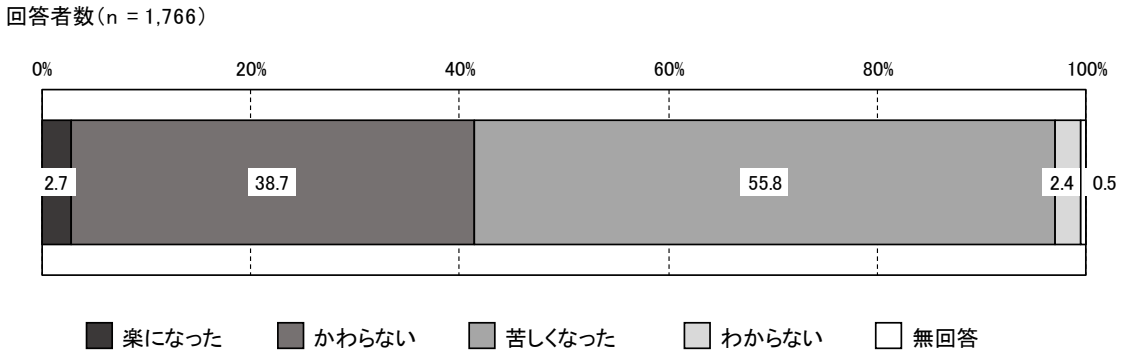
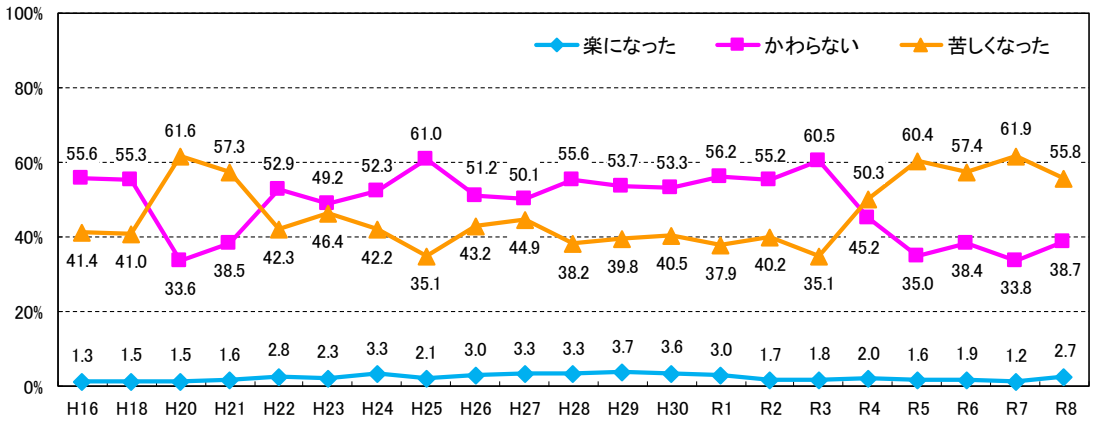


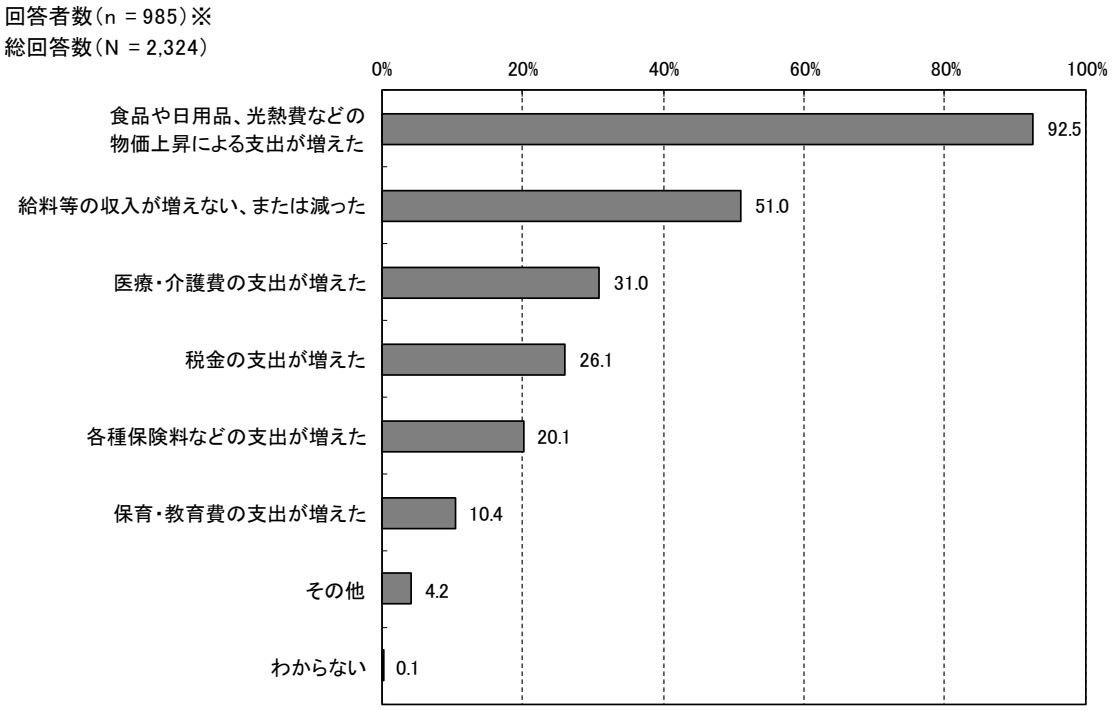
図 1-2 【経年変化】くらしの前年比較



問１－２　くらしが苦しくなったと感じる理由

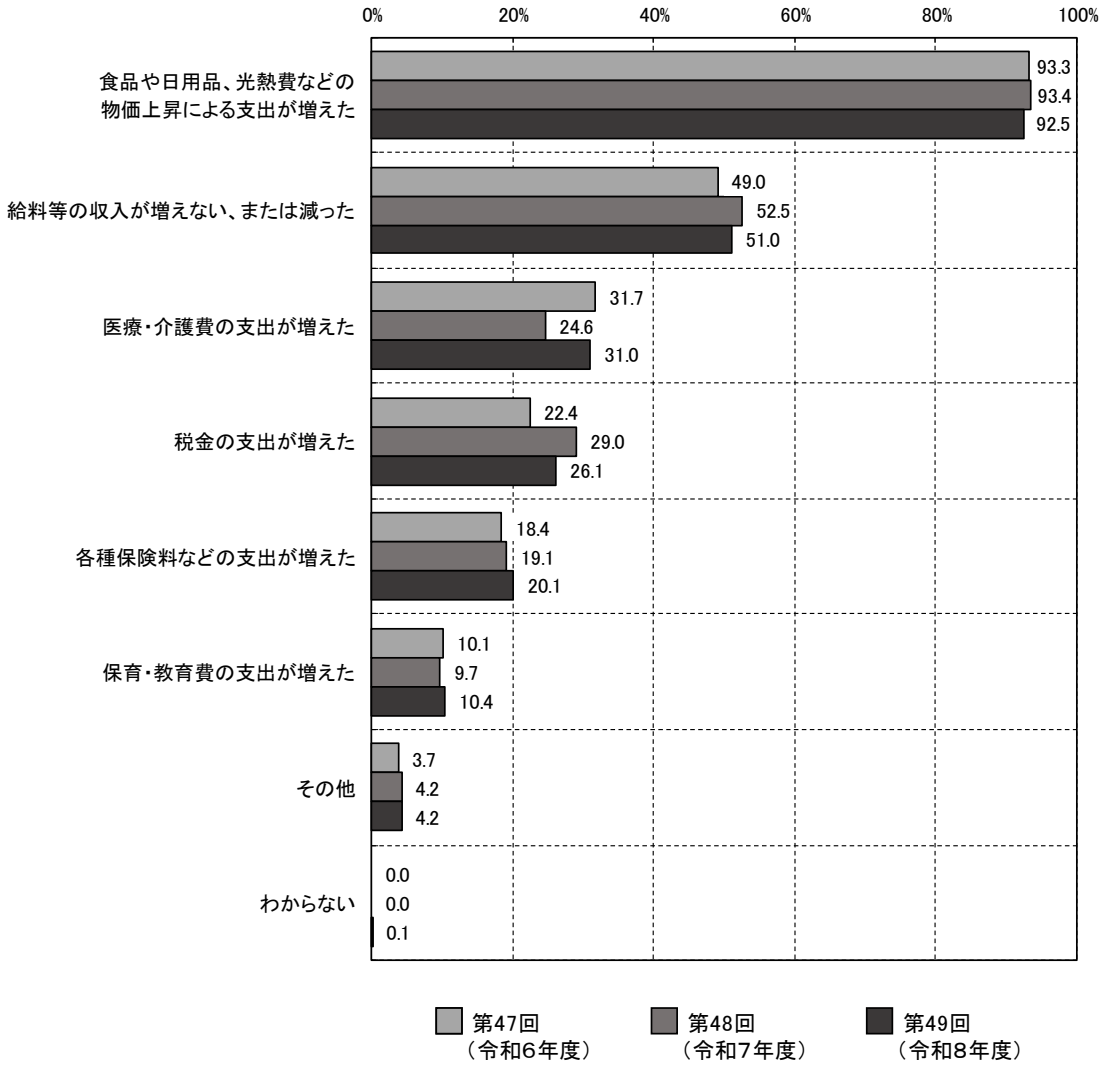
問１－２　「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。 あなたが、くらしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。 （３つまで）

図 1-2-1 くらしが苦しくなったと感じる理由



※ 問１で「苦しくなった」と答えた方のみ

図 1-2-2 【前々回・前回比較】 くらしが苦しくなったと感じる理由



問２　くらしの満足度

問２　あなたは、現在のくらし全般（生活環境など）についてどう思いますか。（１つだけ）

図 2-1 くらしの満足度

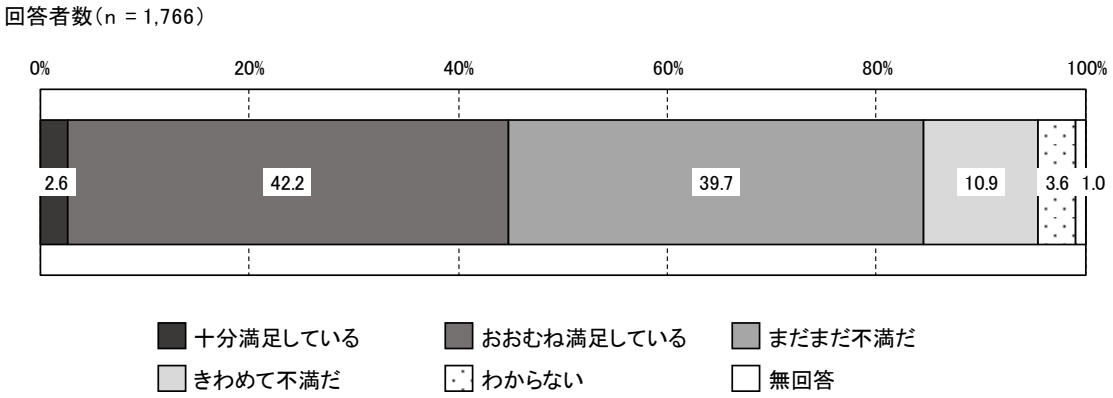
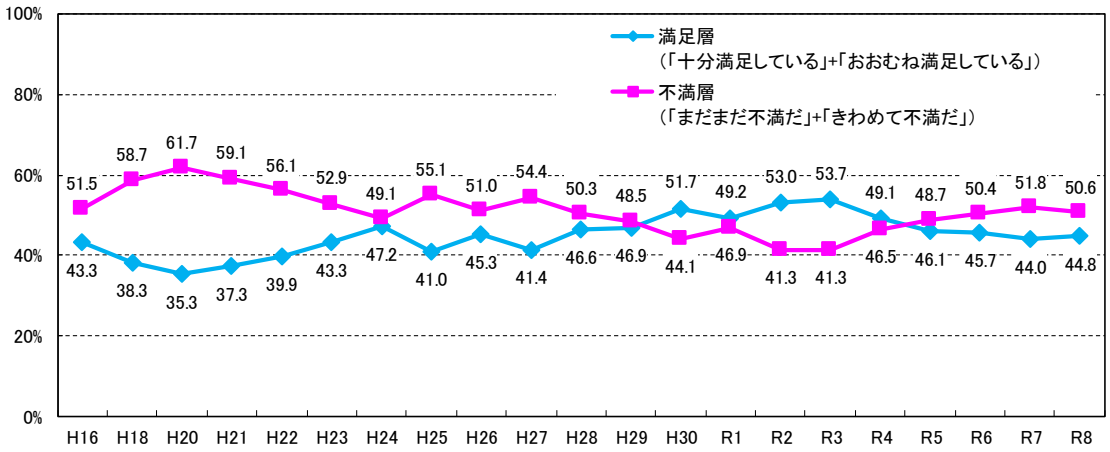


図 2-2 【経年変化】くらしの満足度



問３　生活面での不安

問３　あなたは、日頃のくらしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。（３つまで）

図 3-1　生活面での不安

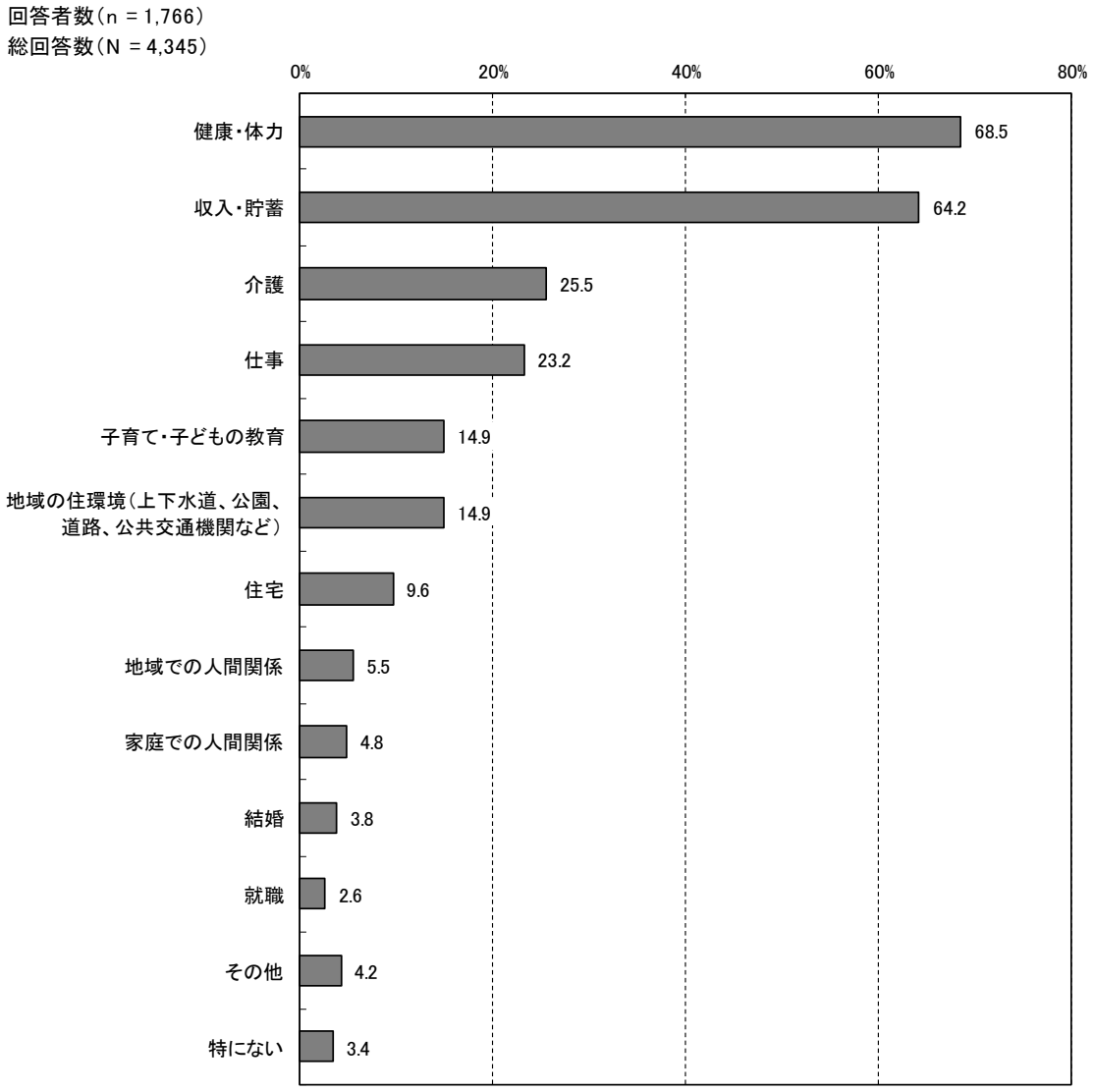
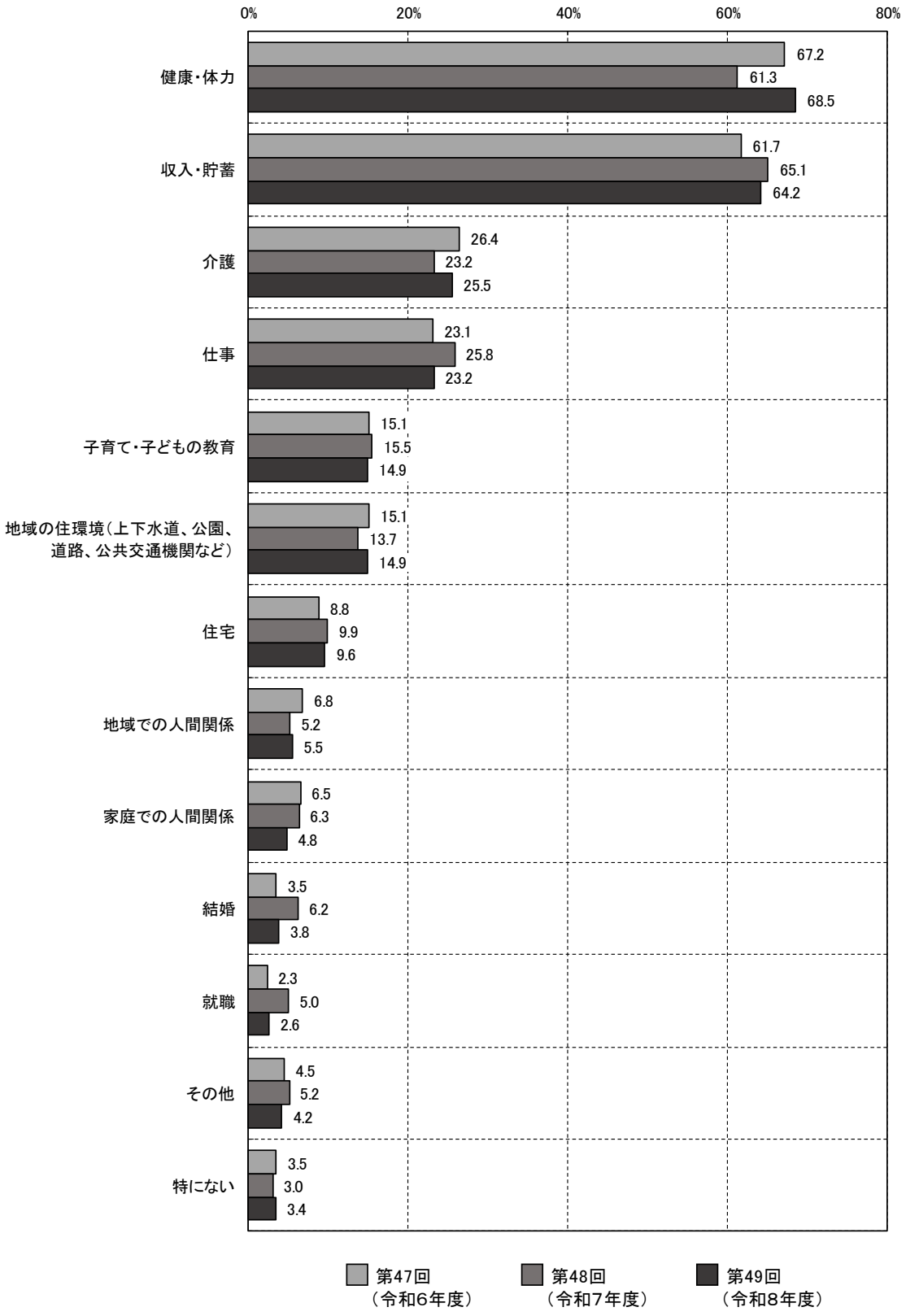


図 3-2 【前々回・前回比較】 生活面での不安



問４　今後のくらしの中で重視していきたいこと

問４　あなたが、今後のくらしの中で重視していきたいと思うことは何ですか。（３つまで）

図 4-1　今後のくらしの中で重視していきたいこと

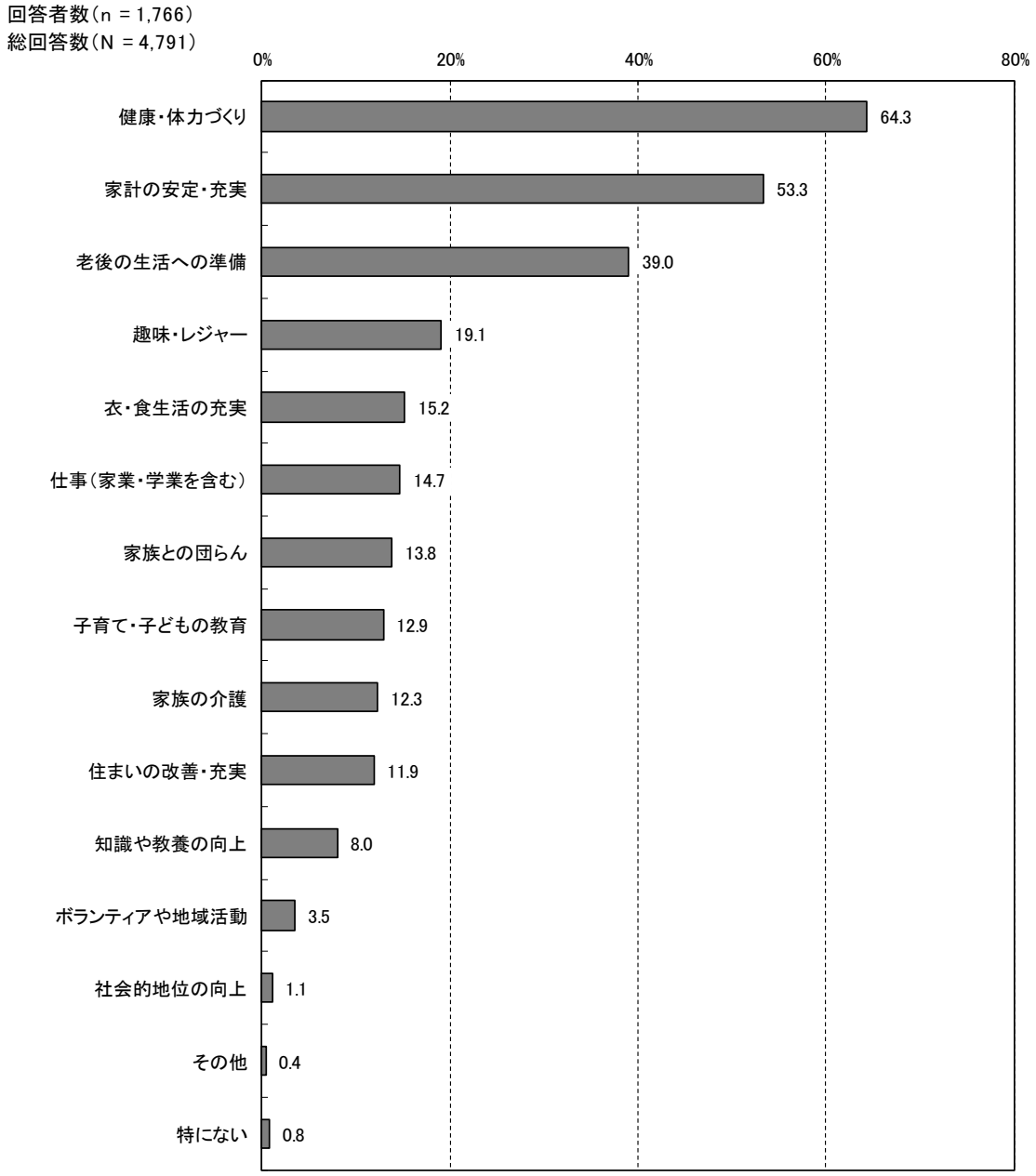
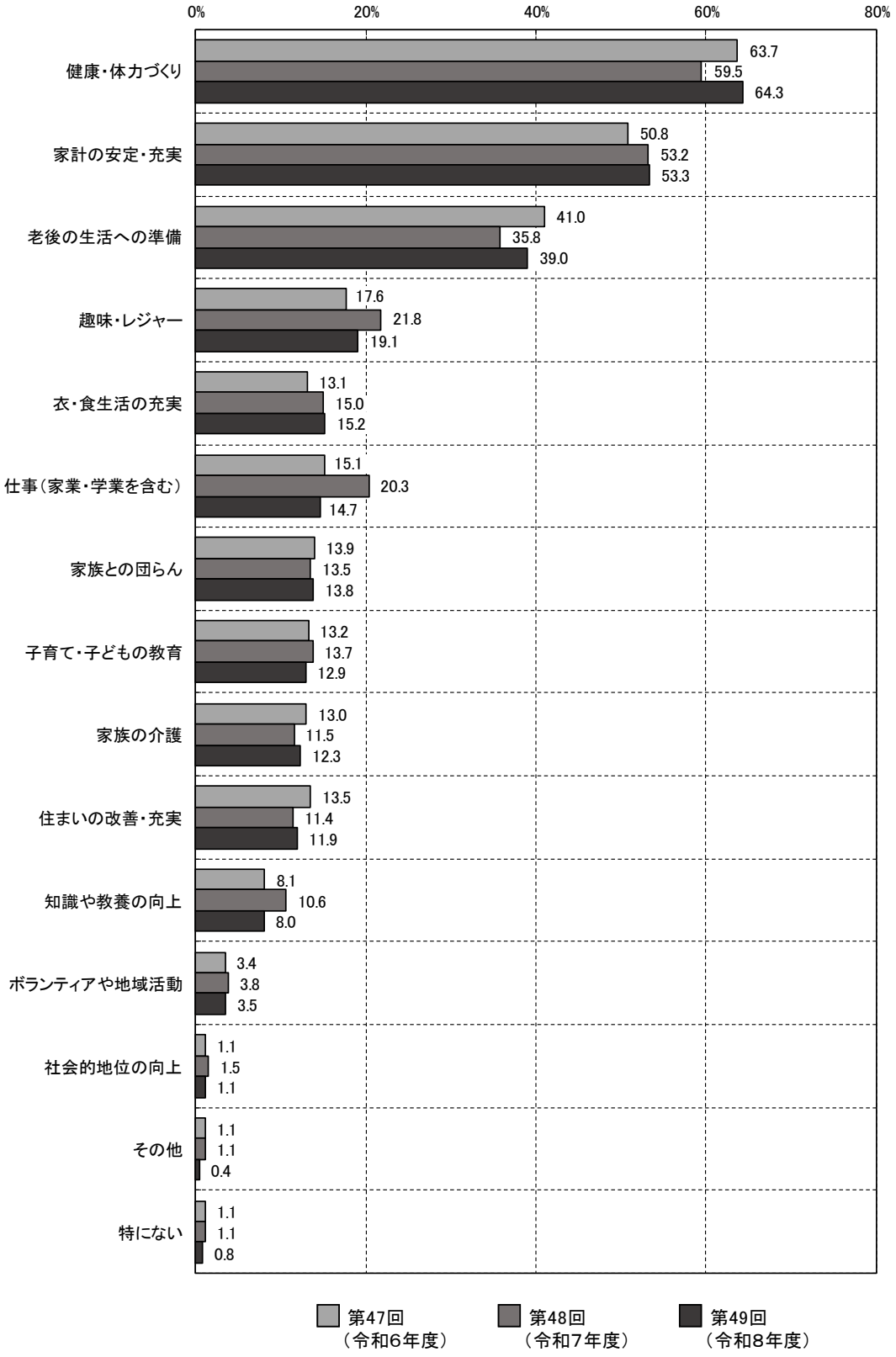


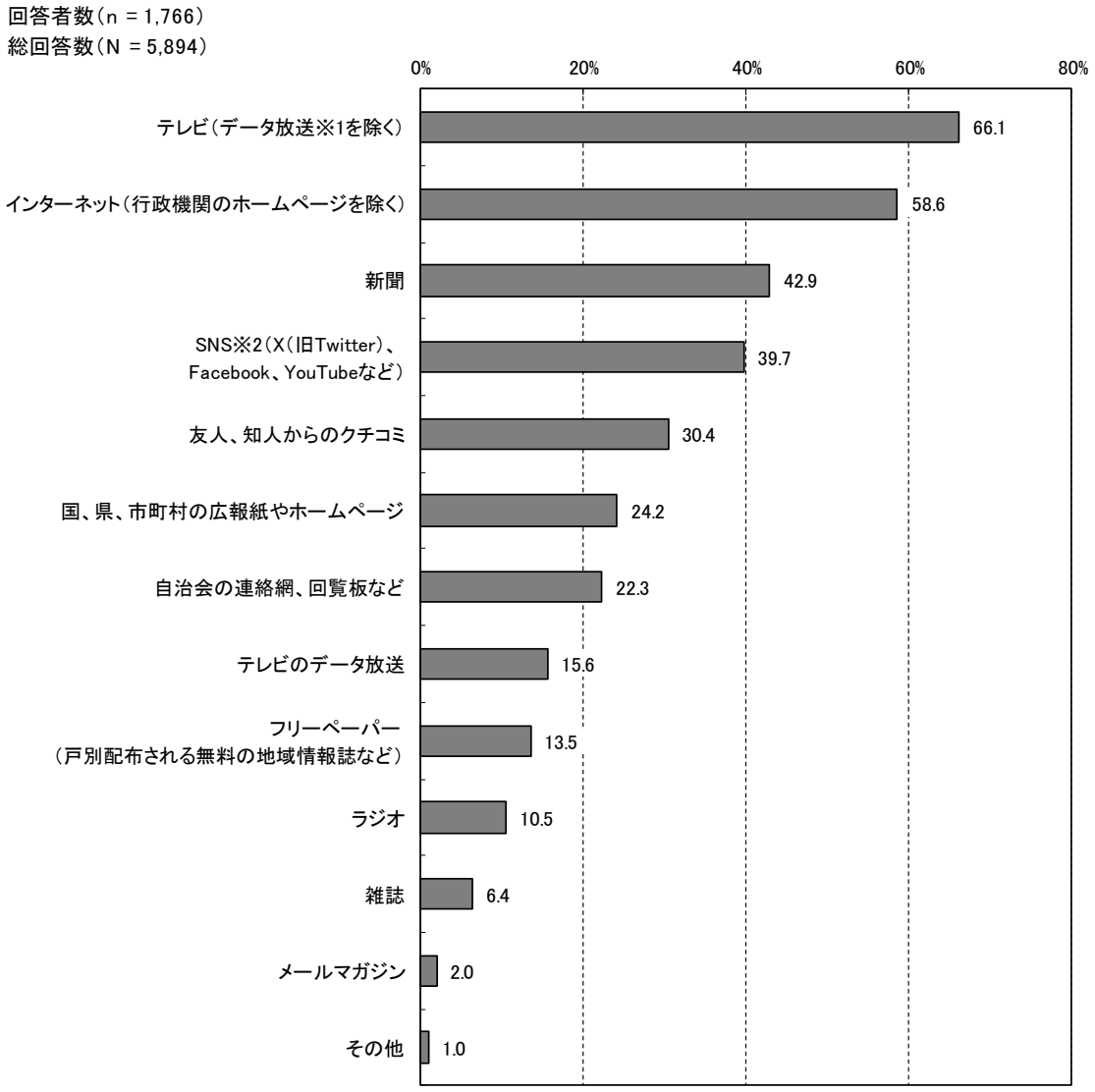
図 4-2 【前々回・前回比較】 今後のくらしの中で重視していきたいこと



問５　生活に必要な情報の入手媒体

問５　あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。（いくつでも）

図 5-1　生活に必要な情報の入手媒体

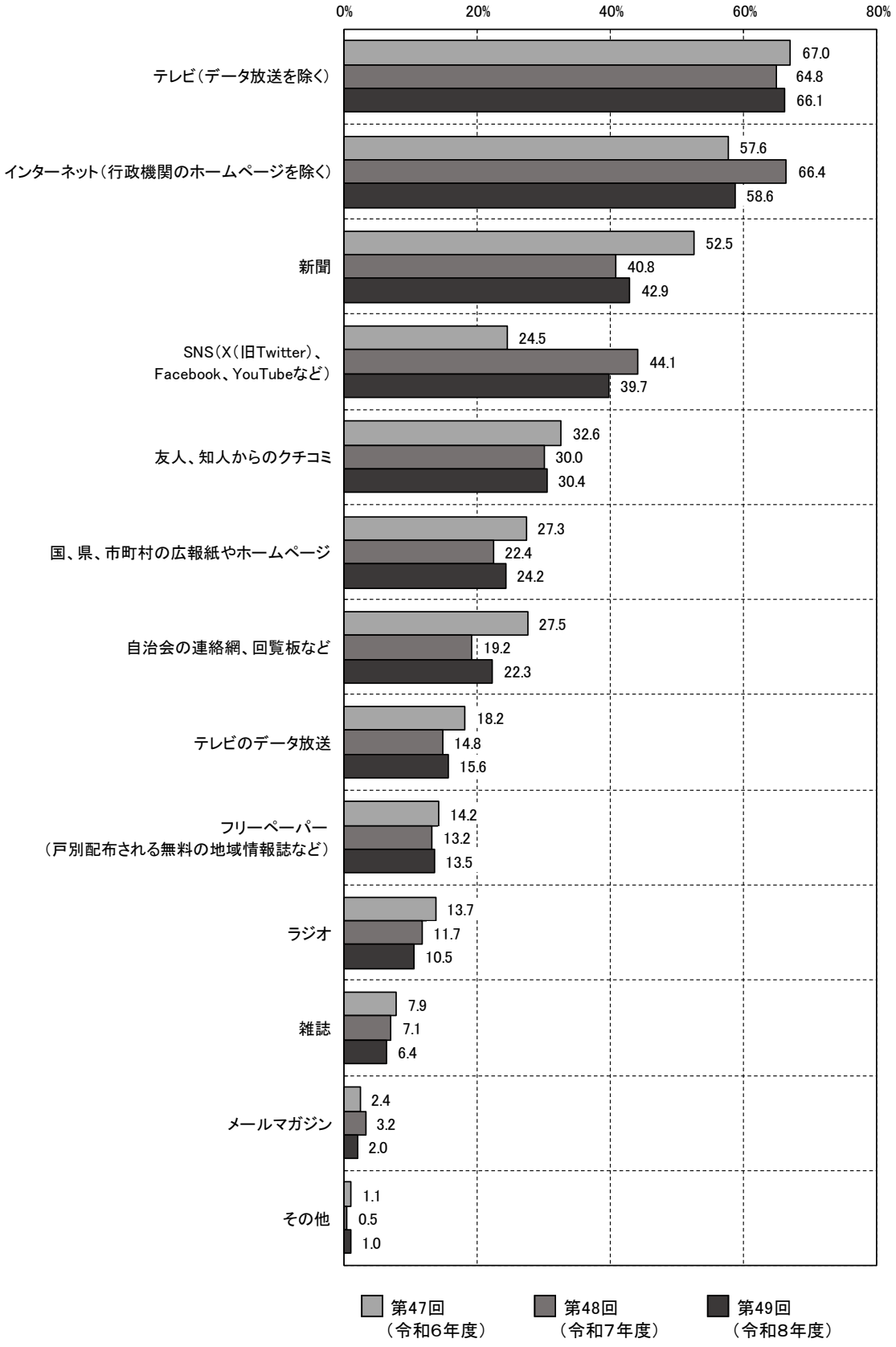


※1　データ放送：リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

※2　SNS：ソーシャル・ネットワーキング・サービス

※　本問における選択肢「SNS（X（旧 Twitter）、Facebook、YouTube など）」は前々回調査「フェイスブック、X（旧 Twitter）などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」より変更

図 5-2 【前々回・前回比較】 生活に必要な情報の入手媒体



問６　現在住んでいる地域は住みやすいか

問６　あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。（１つだけ）

図 6-1　現在住んでいる地域は住みやすいか

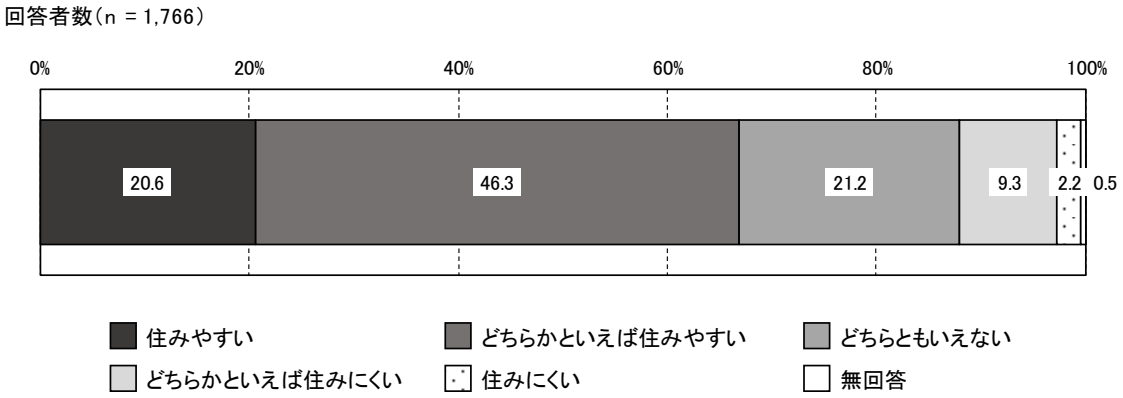
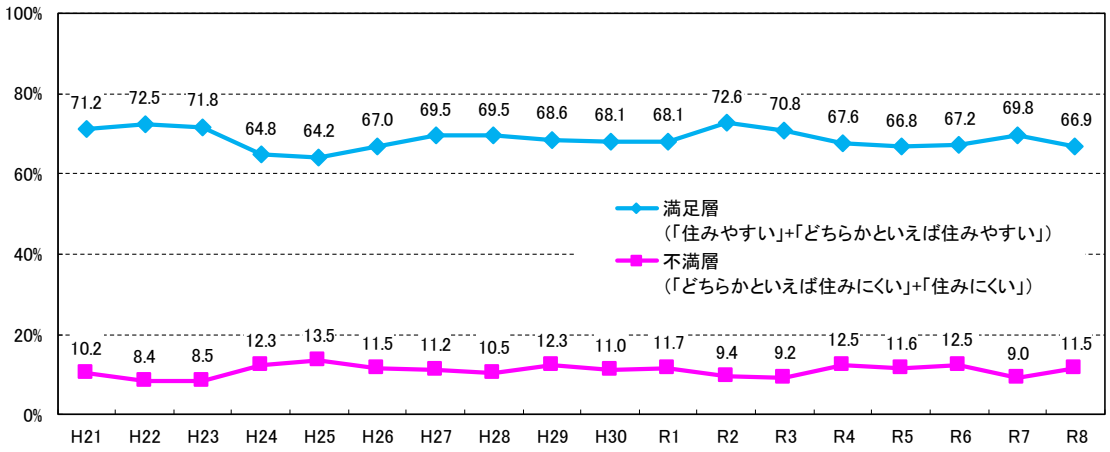


図 6-2 【経年変化】 現在住んでいる地域は住みやすいか

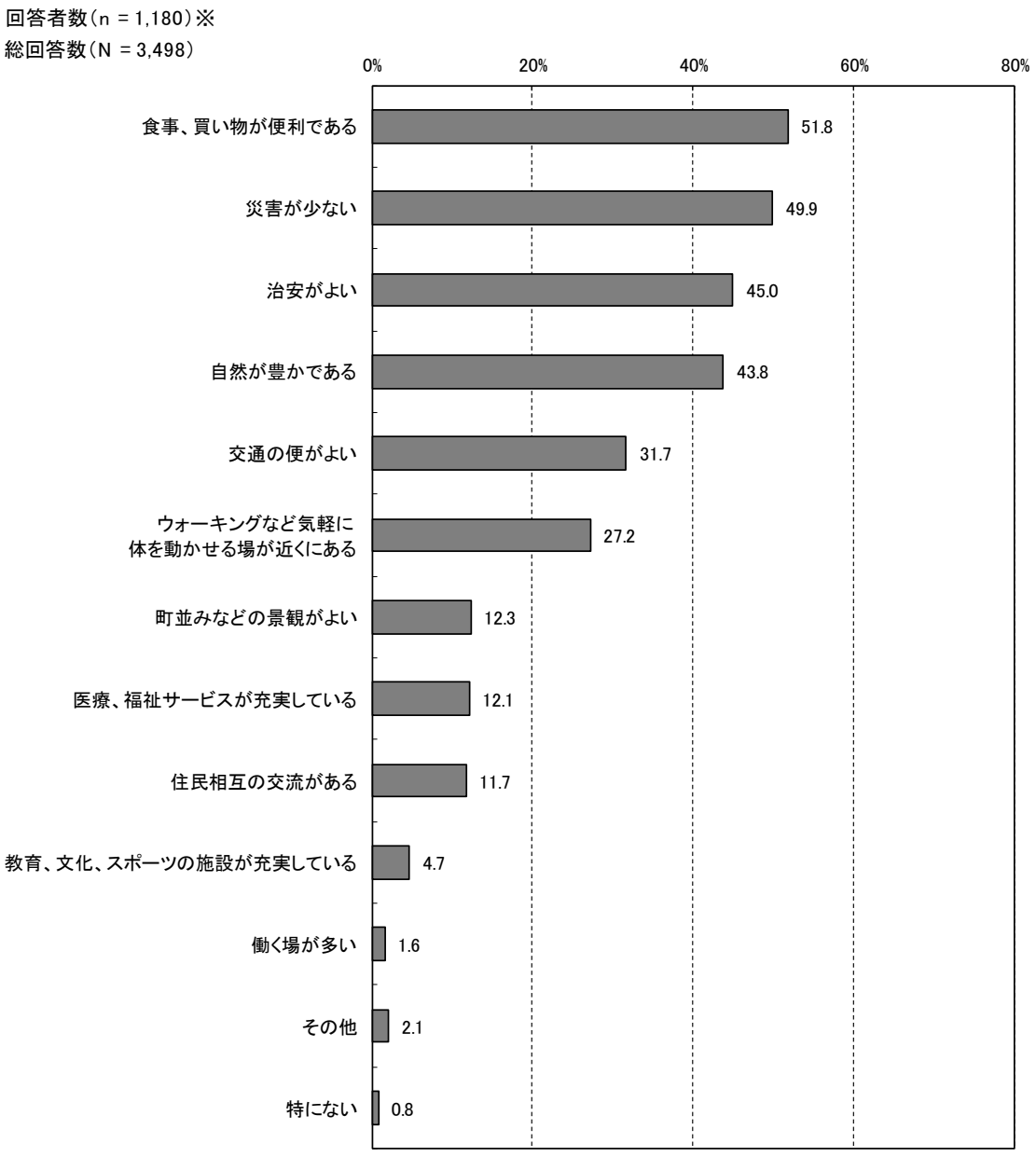


※　平成 21 年度から調査

問６－２　住んでいる地域が住みやすいと感じる点

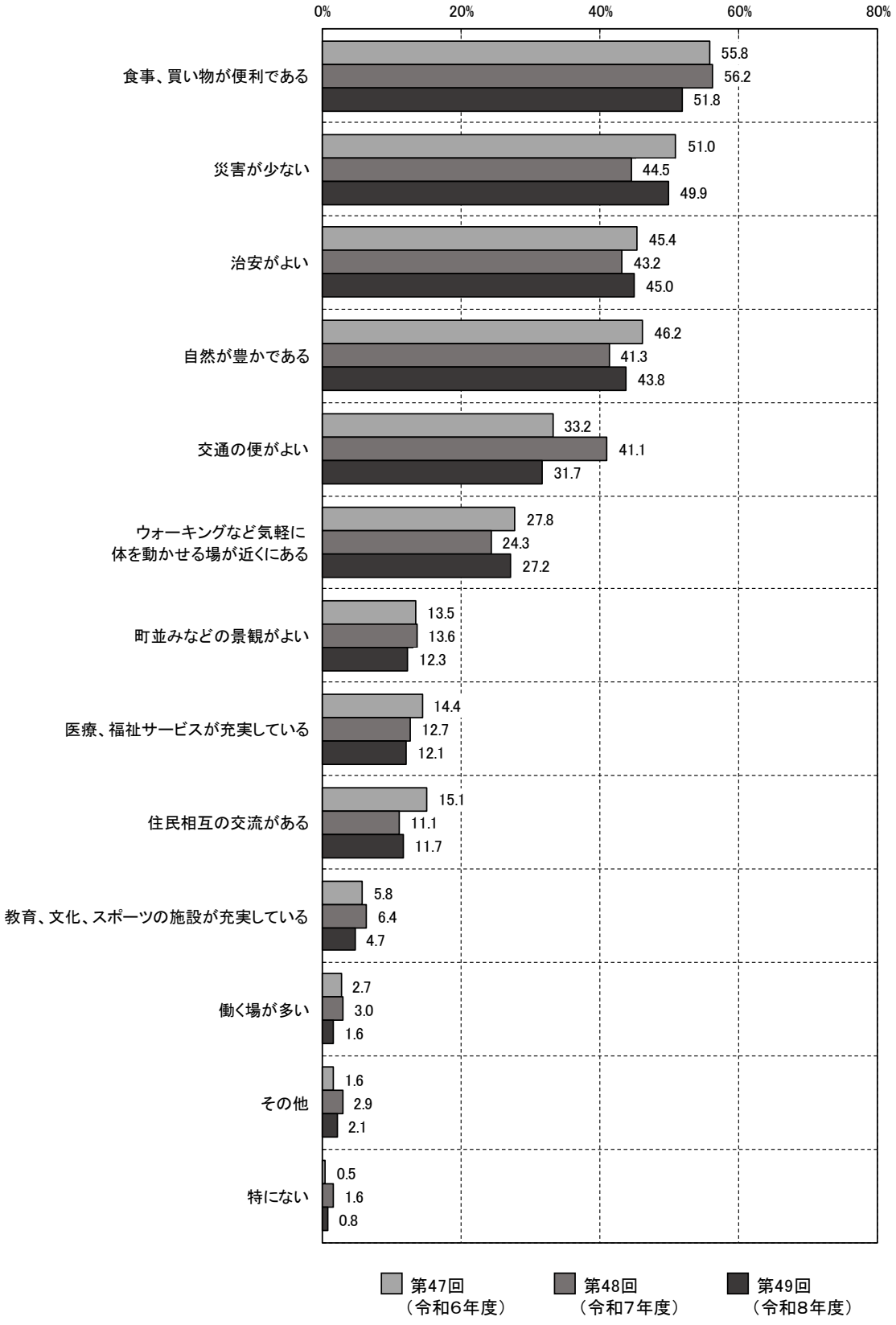
問６－２　「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、現在お住まいの地域が住みやすいと感じるのは、特にどのような点ですか。（いくつでも）

図 6-2-1　住んでいる地域が住みやすいと感じる点



※　問 6 で「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた方のみ

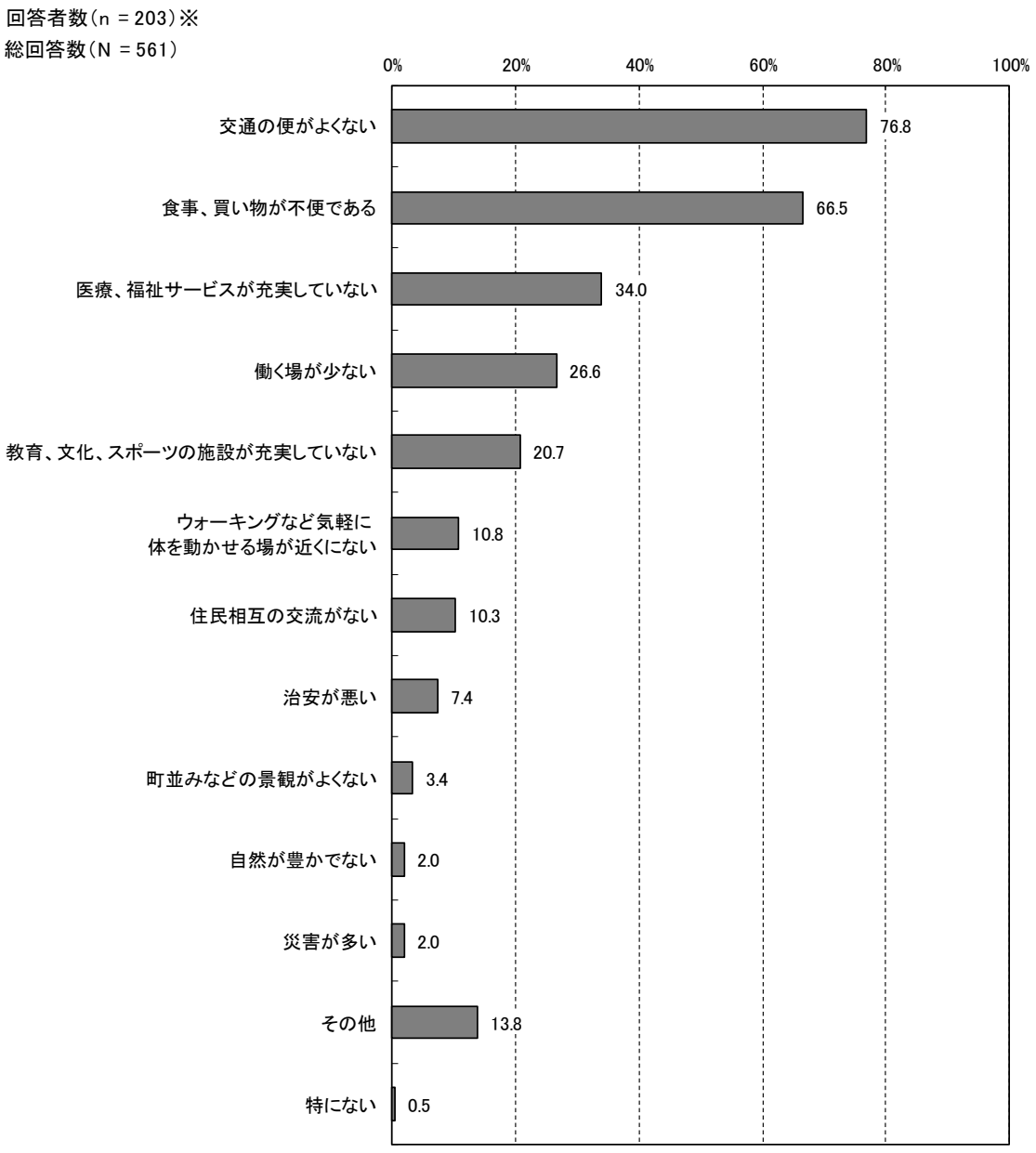
図 6-2-2 【前々回・前回比較】 住んでいる地域が住みやすいと感じる点



問６－３　住んでいる地域が住みにくいと感じる点

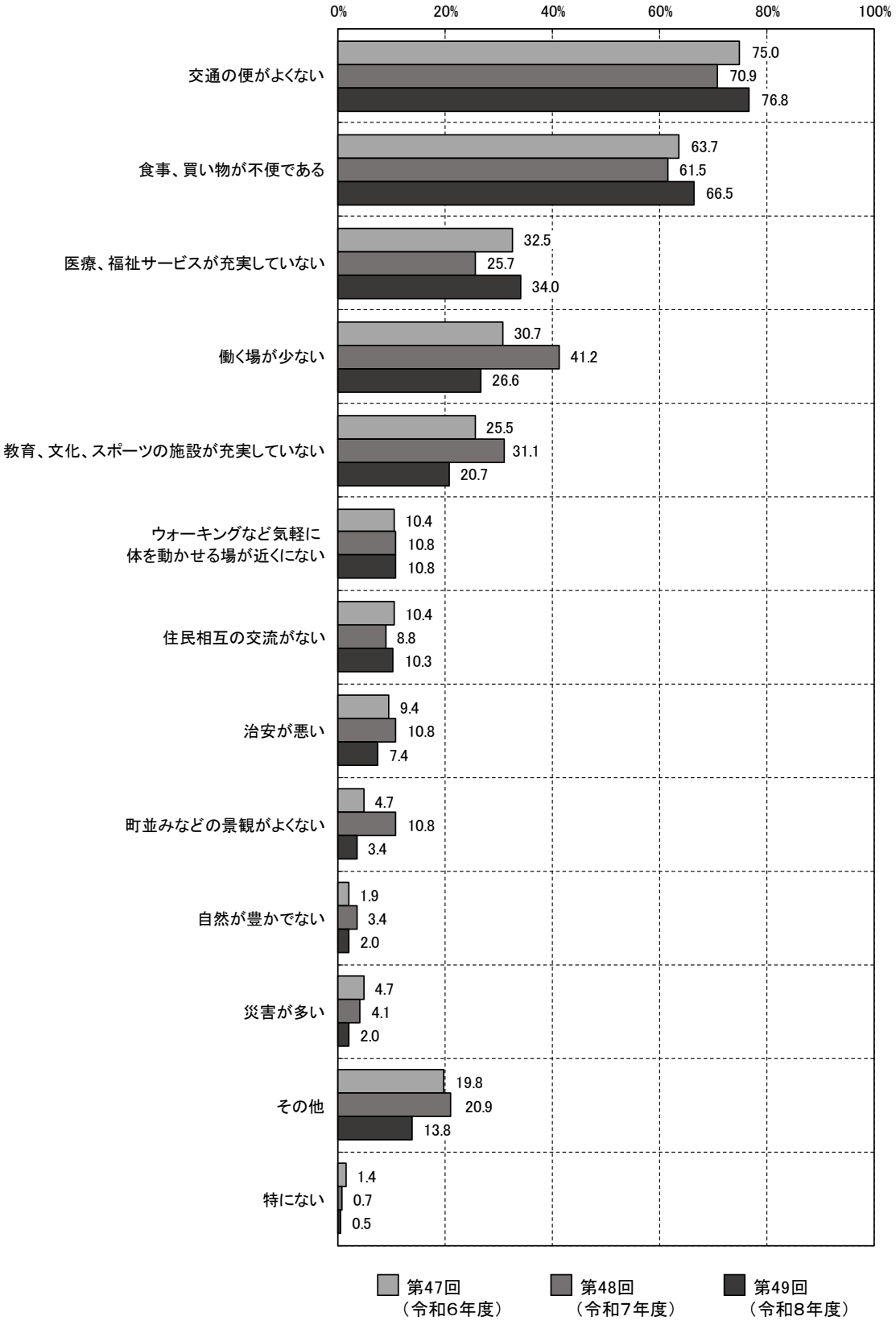
問６－３　「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、現在お住まいの地域が住みにくいと感じるのは、特にどのような点ですか。（いくつでも）

図 6-3-1　住んでいる地域が住みにくいと感じる点



※　問 6 で「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と答えた方のみ

図 6-3-2 【前々回・前回比較】 住んでいる地域が住みにくいと感じる点



問７　今後も岐阜県に住み続けたいか

問７　あなたは、今後も岐阜県に住み続けたいと思いますか。（１つだけ）

図 7-1　今後も岐阜県に住み続けたいか

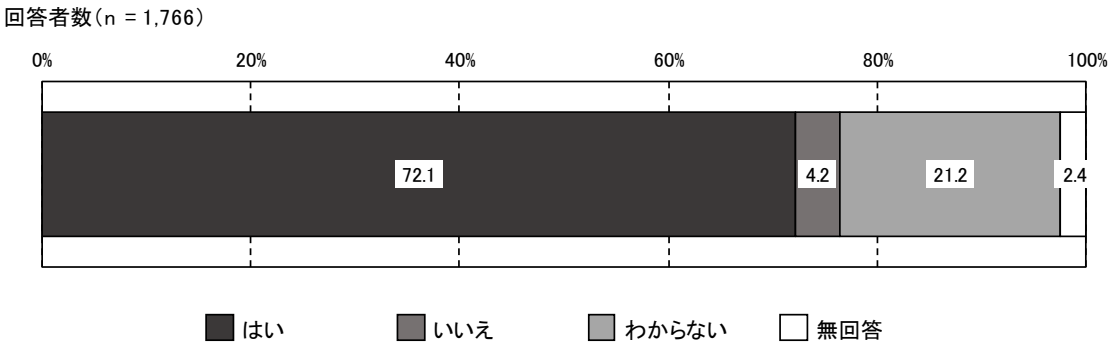
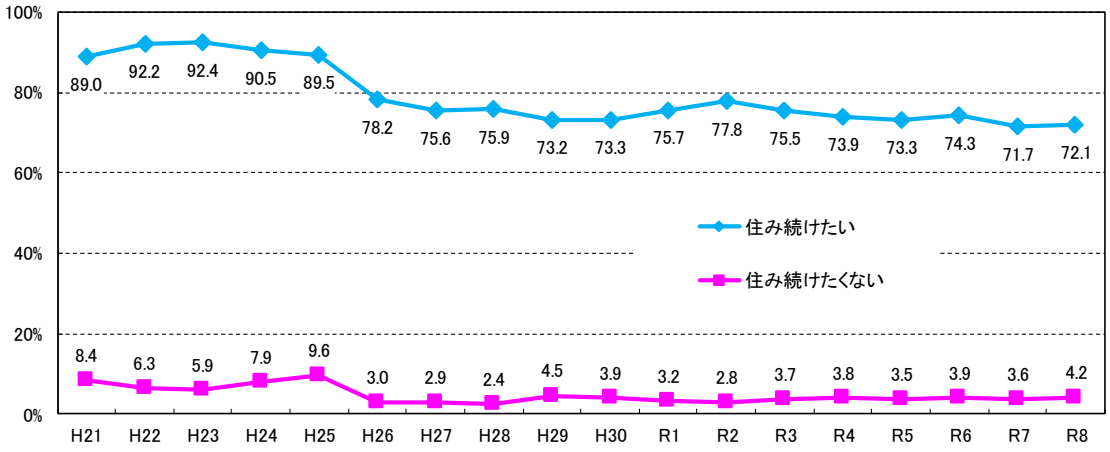


図 7-2【経年変化】今後も岐阜県に住み続けたいか



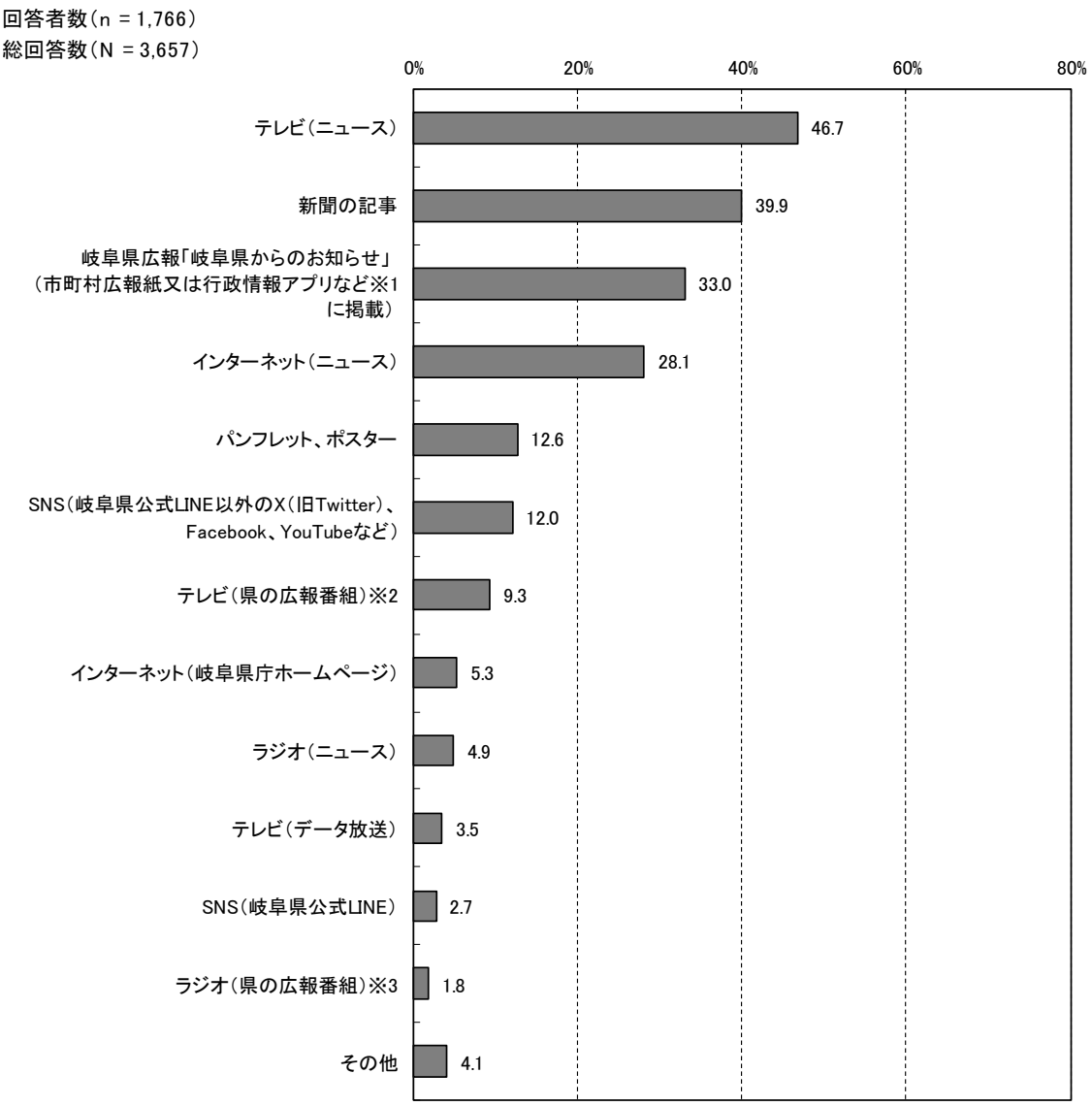
※　平成 21 年度から調査

２．２　県の取組み全般について

問８　施策や事業についての情報の入手方法

問８　あなたは、岐阜県が行っている施策や事業を、何によって知ることが多いですか。（いくつでも）

図 8-1 施策や事業についての情報の入手方法



※1　行政情報アプリなど：行政情報アプリ「マチイロ」
広報紙配信サービス「マイ広報紙」
電子書籍ポータルサイト「Gifu ebooks」

※2　テレビ（県の広報番組）：ぎふチャン（岐阜放送）「ワクワク Navi＃岐阜県広報」「ぎふ県だより」

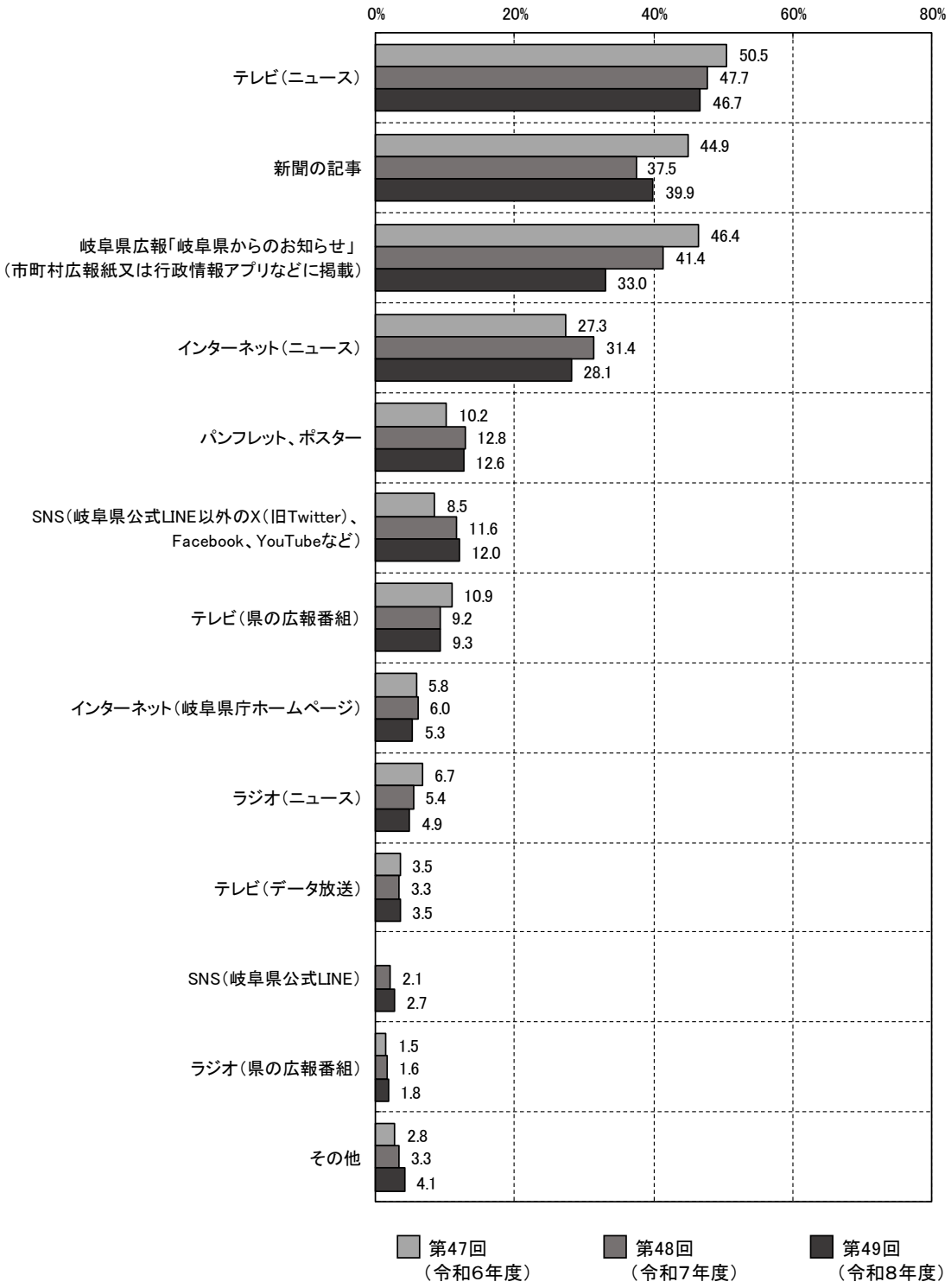
※3　ラジオ（県の広報番組）：エフエム岐阜「GIFU インフォメーション」「ギフトピ」
ぎふチャン（岐阜放送）「ぎふ県だより」「週刊ぎふタイム」

※　本問における選択肢「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」（市町村広報紙又は行政情報アプリなどに掲載）」は前回調査「岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」（市町村広報紙、地域情報誌（フリーペーパー）又は行政情報アプリなどに掲載）」より変更

※　本問における選択肢「SNS（岐阜県公式 LINE 以外の X（旧 Twitter）、Facebook、YouTube など）」は前々回調査「フェイスブック、X（旧 Twitter）などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」より変更

※　本問における選択肢「SNS（岐阜県公式 LINE）」は前回調査より新設

図 8-2 【前々回・前回比較】 施策や事業についての情報の入手方法



問９　県事業への関心の有無

問９　あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。（１つだけ）

図 9-1　県事業への関心の有無

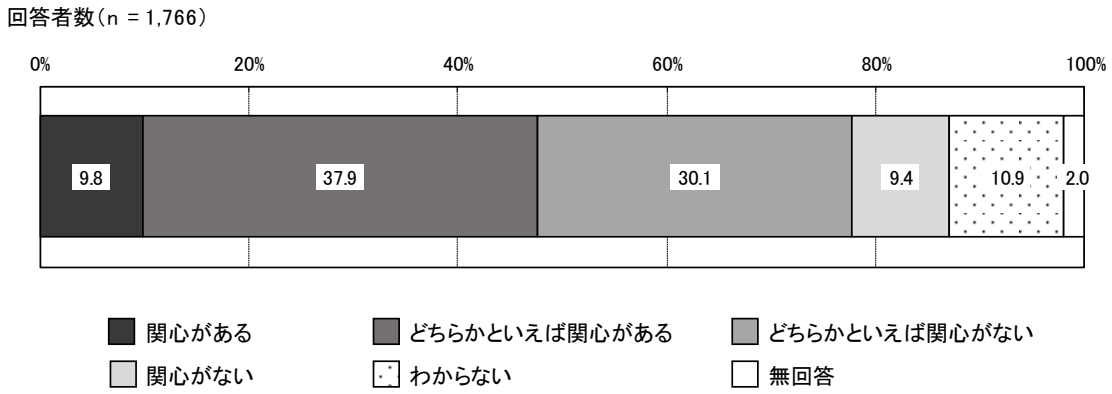
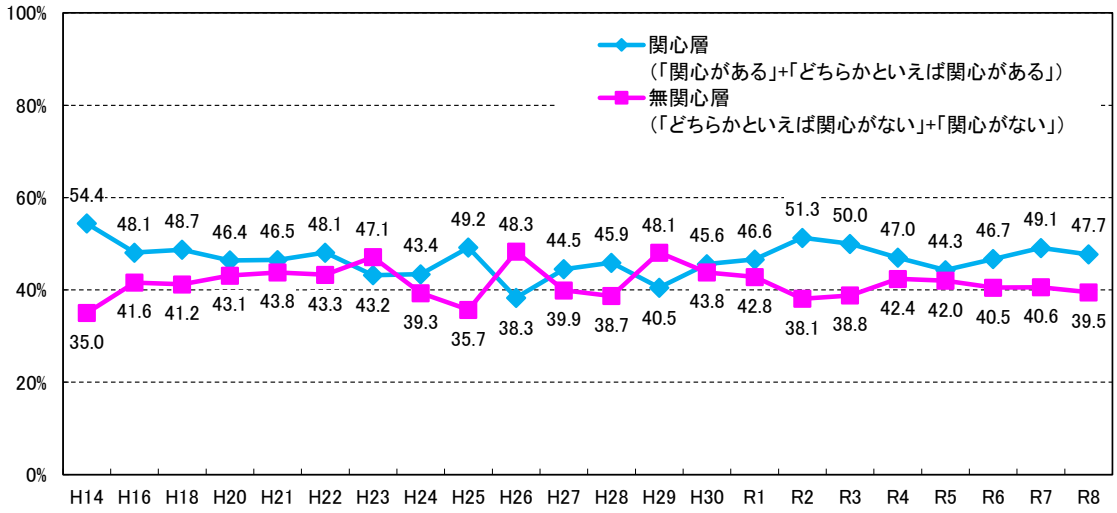


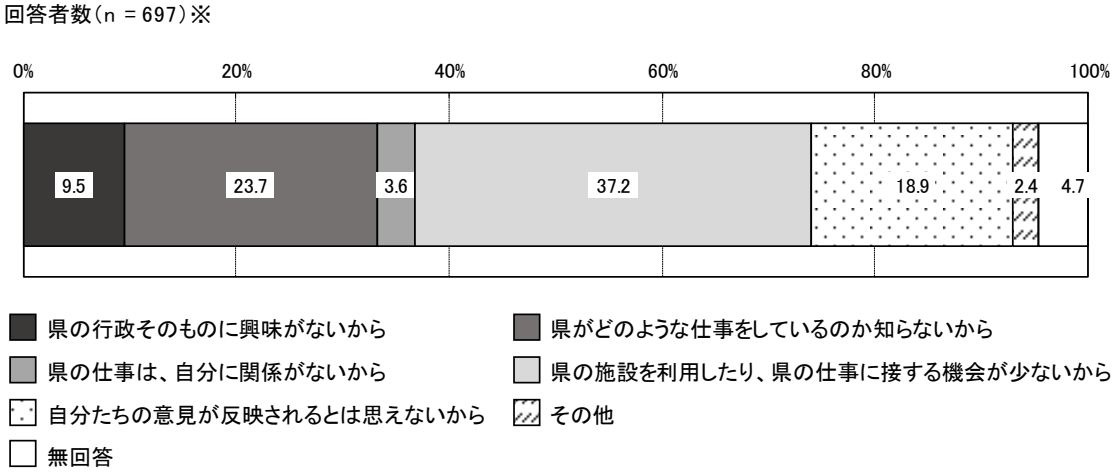
図 9-2【経年変化】県事業への関心の有無



問９－２　県事業に関心がない理由

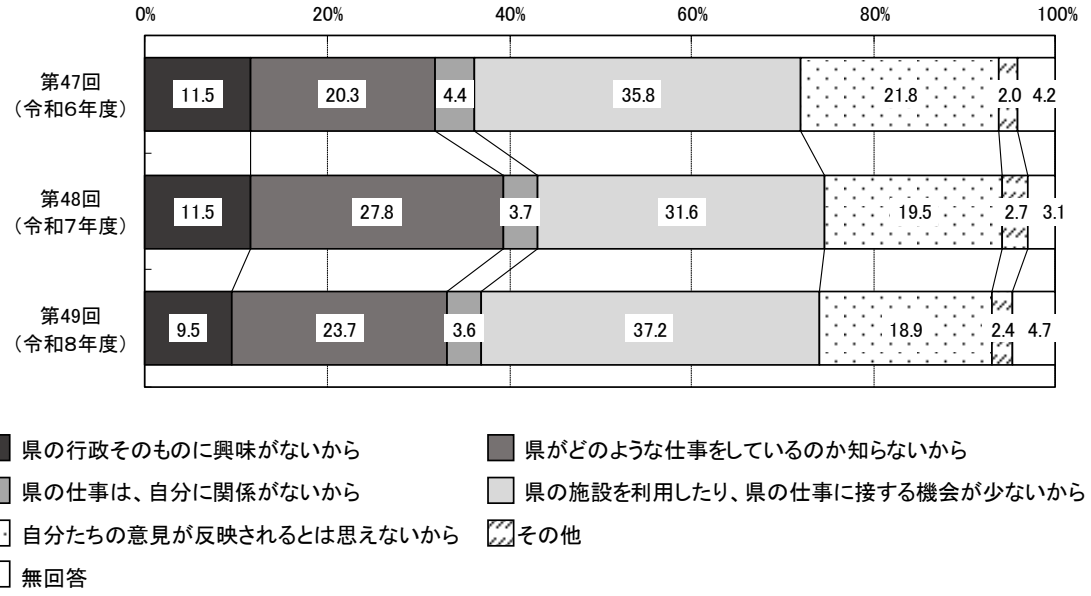
問９－２　「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方にお尋ねします。
あなたが、岐阜県が行っている事業やその進め方に関心がないのは、
どのような理由からですか。（１つだけ）

図 9-2-1　県事業に関心がない理由



※　問 9 で「どちらかといえば関心がない」「関心がない」と答えた方のみ

図 9-2-2 【前々回・前回比較】 県事業に関心がない理由

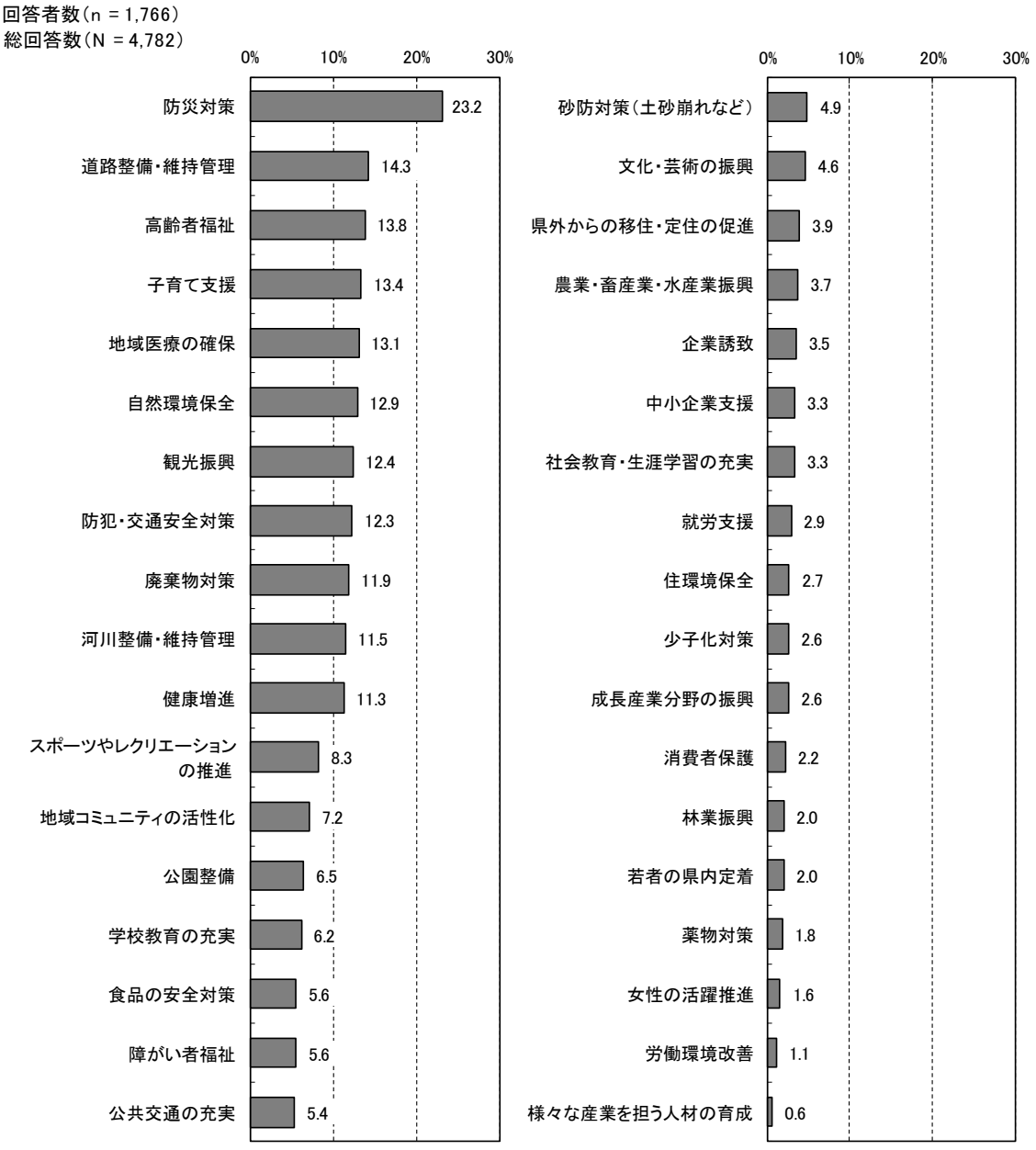


問１０　県の取組でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

問１０　あなたが、県の取組についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。 また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。（それぞれ５つまで）

【県の取組でよくやっていると思う分野】

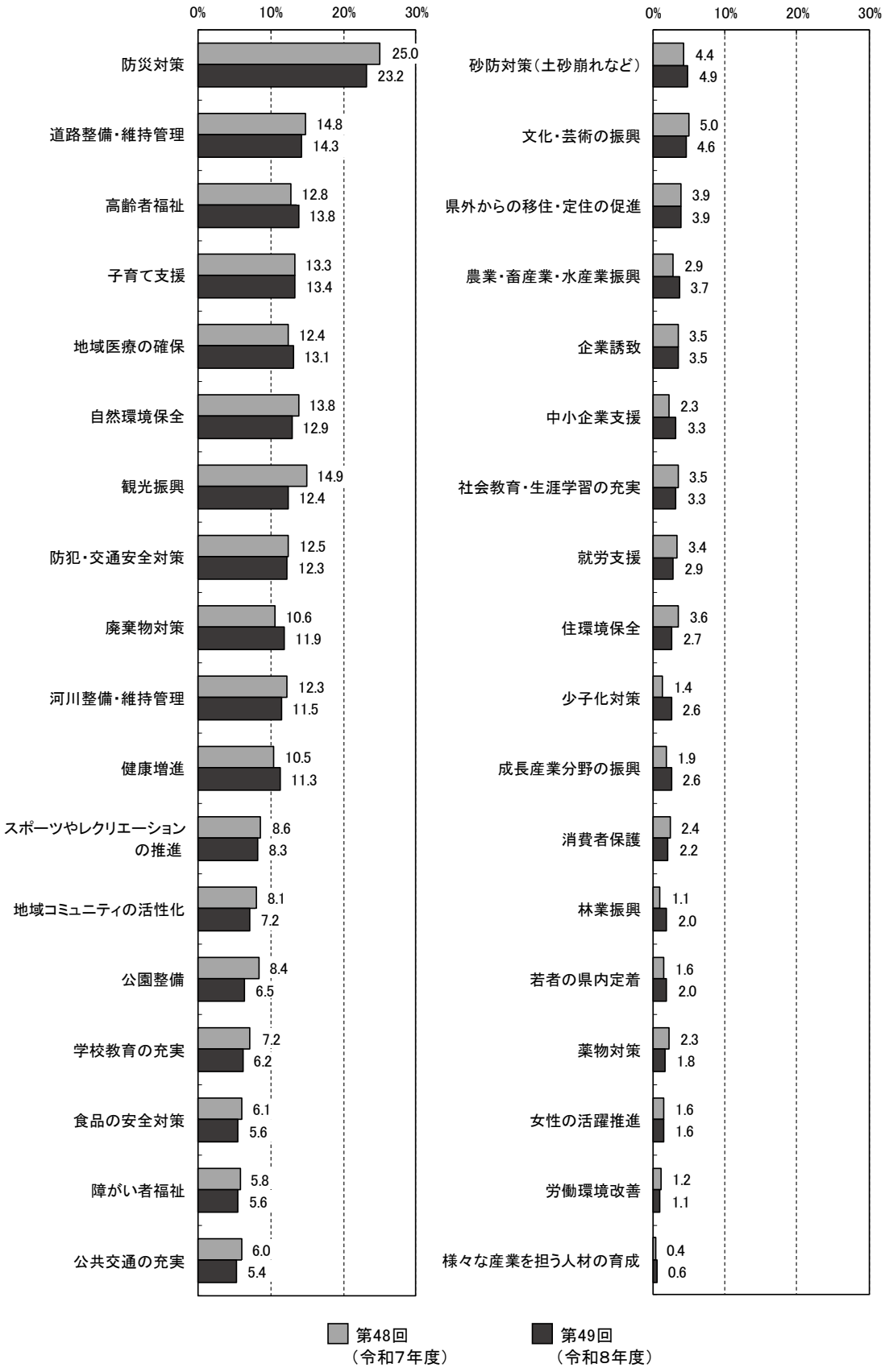
図 10-1　県の取組でよくやっていると思う分野



※　成長産業：岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。（令和 8 年度現在）

※　本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全：騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

図 10-2 【前回比較】県の取組でよくやっていると思う分野



【県の取組で努力が足りないと思う分野】

図 10-3 県の取組で努力が足りないと思う分野

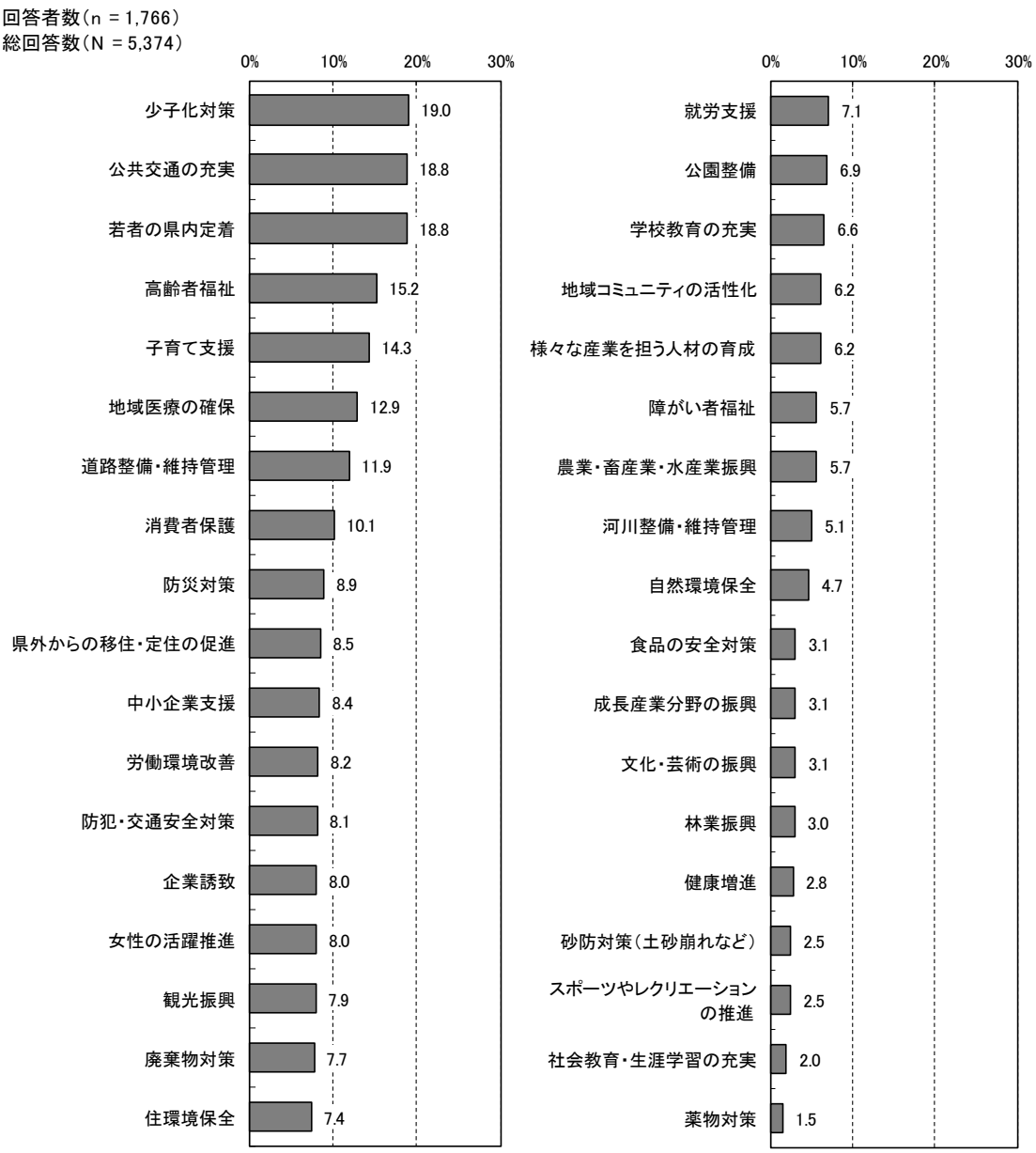
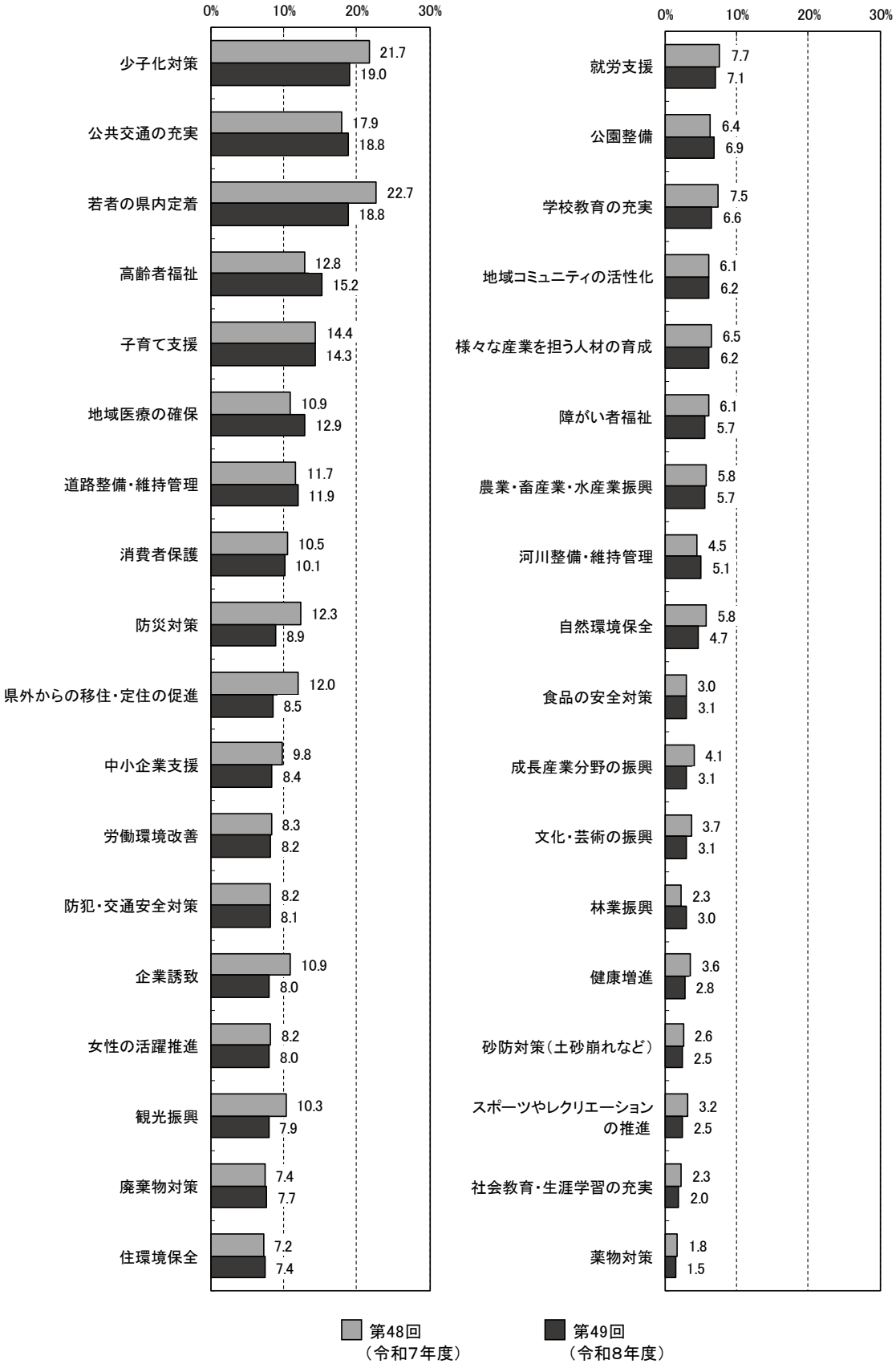


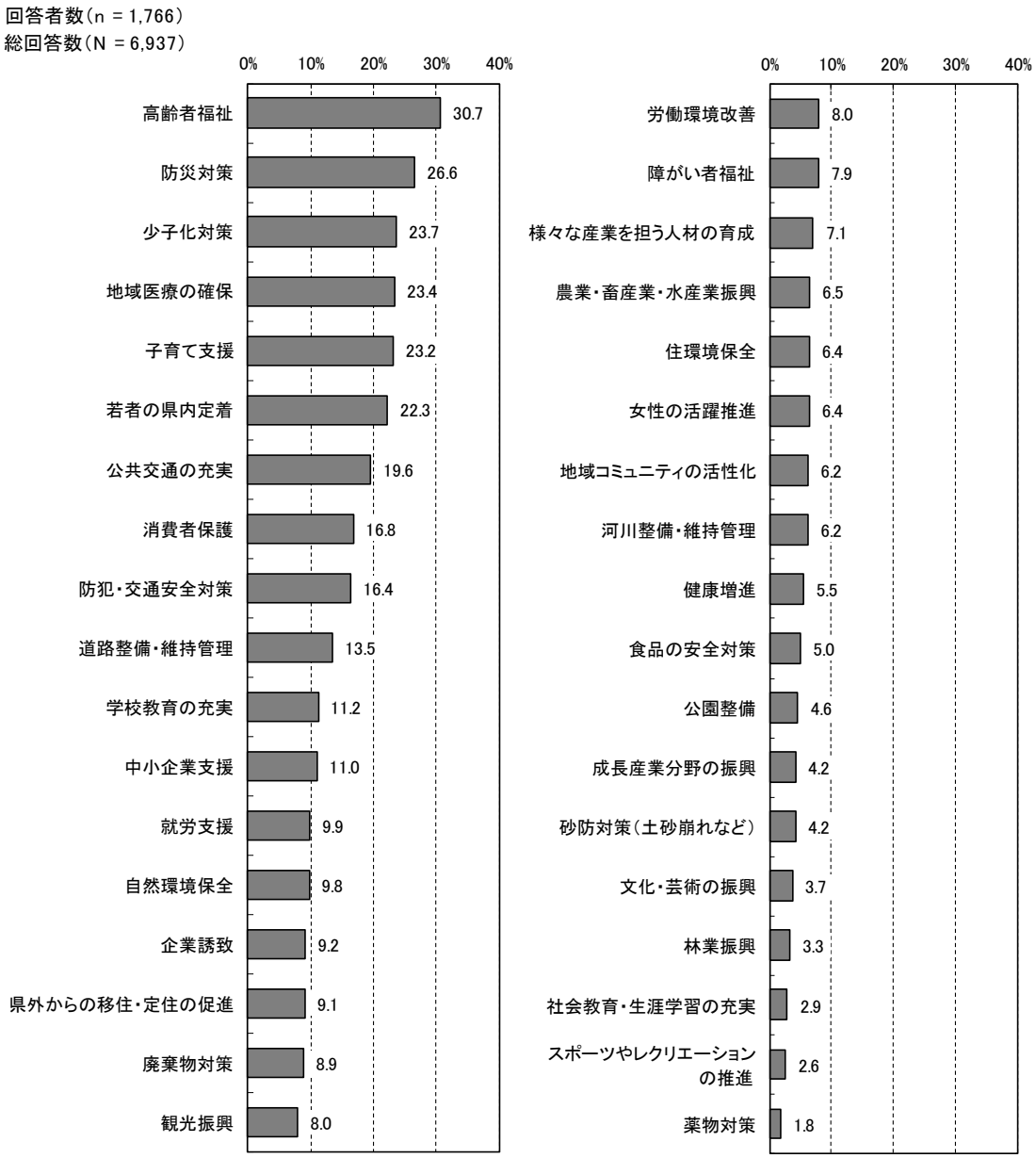
図 10-4 【前回比較】県の取組で努力が足りないと思う分野



問１１　重点的に進めるべきだと思う分野

問１１　あなたは、今後、県がどのような分野を重点的に進めるべきだと思いますか。 （５つまで）

図 11-1　重点的に進めるべきだと思う分野



※　本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全：騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

図 11-2 【前回比較】重点的に進めるべきだと思う分野

